持出禁止
保存用

東南アジアに於ける技能者レベルの研修施設ハンドブック（第3版）

1968・9

コロンボ計画事務局

海外技術協力事業団

RY

国際協力事業団
受入月日 '84. 5. 22
登録No. 06782
A 100
12417
KA

目　　次

序　論

コロンボ計画についての解説

第　一　部　技能者訓練施設総覧 ………………………… 7

解　説

アフガニスタン ………………………… 9
ビルマ ………………………… 9
セイロン ………………………… 10
インド ………………………… 15
インドネシア ………………………… 63
イラン ………………………… 65
韓　国 ………………………… 68
マレーシア ………………………… 72
パキスタン ………………………… 75
フイリピン ………………………… 86
シンガポール ………………………… 91
タ　イ ………………………… 94
ヴイエトナム ………………………… 97

研修科目参照索引 ………………………… 101

第　二　部　域内各国政府が提供する諸経費及びその他の便宜 ………… 105

アフガニスタン ………………………… 107
ビルマ ………………………… 108
セイロン ………………………… 109

JICA LIBRARY
1057627[0]

インド …… 110
インドネシア …… 112
韓国 …… 113
マレーシア …… 114
パキスタン …… 115
フイリピン …… 116
シンガポール …… 117
タイ …… 118

付録

(I) 域内研修連絡担当官 …… 119
(II) クエスチヨネアー …… 122
(III) 技術用語解説 …… 126
(IV) 為替レート表 …… 131

序　　　論

本書は、１９６２年９月初刊の「東南アジアに於ける技能者レベルの研修施設ハンドブック」(Handbook of Training Facilities at the Technician Level in South and South-East Asia)の第三版であり、本書刊行の目的は、東南アジア地域に於ける技能者訓練施設についての資料を供し、関連コロンボプラン加盟の資に供するものである。

域内諸国における訓練の重要性、特に中堅技術者或いは技能者レベルの訓練の重要性は、コロンボ計画の発足以来明確に認識され且つ強調されてきた。もつと明確に云えば、これはコロンボプラン協議委員会や審議会が開かれる以前の１９５７年より引き続いて強調されてきている問題である。１９５９年インドネシアのジョクジヤカルタで開かれた協議委員会に於いて、コロンボ計画域内に於ける技術訓練施設についての大規模な調査をなすべきであるという審議会の勧告が受け入れられた。２年後、フォード財団よりの資金の援助を受け、英国文化振興会（British Cauncil ）のH,R ミルズ氏の指導の下に、コロンボ事務局は調査を行ない、その結果はミルズ報告（Mills Report ）として発表された。この調査は、東南アジアに於ける工芸学校（Poly technic school）或いは技術学校（technical school ）レベルの技術教育施設を網羅していると共に、機械、工業、建設、農業、林業、漁業及び運輸通信の諸分野に於ける研修施設について特に詳しく調査した。しかし、一方に於いて、この調査は下級の職人或いは職工レベルの技術施設については触れていないと共に、他方に於いて大学の学位取得のため或いは専門職・管理職レベルの訓練施設についても言及していない。

１９６１年９月に刊行されたミルズ報告は、各国に於ける技能者訓練施設を集録している。１９６１年クアラ・ルンプールに於いて開催された協議委員会は、上記集録（Directory ）に含まれている内容は時に応じて補足され、常に最新なものでなければならないことを勧告した。これは、相互の協力により、又、この資料の充分な活用によつて、訓練された技能者の差し迫つた必要性は効果的に満たされるからである。

この勧告を実施するに当り、事務局は１９６２年にこのハンドブックの初版を刊行し、１９６２年に第二版を刊行した。

１９６６年のカラチ協議委員会の勧告と意を一にして、１９６４年度版のハンドブック改訂の作業は１９６７年事務局によつて始められた。事務局は域内訓練連絡官（Intra-Regional Training Liason Officers ）　補遺Ｉ参照

これに必要な情報資料を蒐集し照合する作業のために、二種類の質問状（Questionnaire）が使用された。一つの質問状は大部分技能者訓練所に対して、他の一つは技能者訓練施設を有する企業体に出された。最新の情報資料が多くの域内加盟国から提供された。

コロンボ計画審議会は、１９６８年度版は近隣諸国からの研修生にも開校されており、しかも、技能者訓練所としては秀れた施設を有していると認めている精選された訓練所は企業の集録から成りたつべきであるという案を承認した。このハンドブックは二部から成つている。第一部は訓練施設集録から成り、第二部は域内加盟諸国が研修生に与えている滞在費及びその他の便宜についての資料を含んでいる。

研修施設の集録にすぎないため、このハンドブックは前版のように綜合的なものではない。しかし、域内の技能者訓練の高揚のための一助としての価値は、域内訓練に利用できるこれらの訓練施設に重点がおかれているためより一層高まつている。

コロンボ計画について

コロンボ計画は東南アジアの経済開発協力計画である。この計画の発端は１９５０年１月にコロンボに於いて開かれた旧英連邦外相会議にさかのぼる。それ以来コロンボ計画（Colombo Plan）の名称が使われている。最初の加盟国は旧英連邦７カ国に限られていた。即ち、オーストラリア、英国（マラヤ連邦、シンガポール、北ボルネオ及びサラワクを含む）、カナダ、セイロン、インド、ニュージーランド及びパキスタンである。しかし、コロンボ計画への信頼がたかまるに従い、その加盟国数も増え、単に域内諸国だけでなく、域外諸国にも加盟国が増えていつた。現在の加盟国は２４カ国にのぼり、内１５カ国は旧英連邦以外の諸国である。

活動方法

組織的には、コロンボ計画の運行にあたつては三つの主要拠点がある。

協議委員会

先ず、加盟諸国政府の閣僚から成る最高政策決定機関として協議委員会がある。この委員会は毎年加盟各国の首都で開かれる。この委員会の目的は域内の開発に関する調査、経済開発の必要性の評価、資金援助及び技術援助との一対の方式でなされる国際協力が、いかにして各国間の資源のギャップを埋め開発のペースをスピードアップできるかを検討することにある。

技術協力審議会（Council for Technical Co-operation）

第二は、定期的にコロンボに於いて開かれるコロンボ計画審議会である。審議会はすべてのコロンボ計画加盟国の代表より構成されているが、大部分は駐セイロンの各国公館が代表となつて

いる。この審議会は資金援助の問題は扱わない。その業務は域内の技術援助の促進及び調整に限定されている。

コロンボ計画事務局は第三の焦点である。事務局は規模の小さい組織であり、次の四つの主要業務を行なう。

1）審議会の世話

2）域内諸国に与えられたすべての技術援助の記録

3）域内訓練事業の開発

4）コロンボ計画に関しての全般的な情報資料の配布

コロンボ・プラン精神

このように、コロンボ計画はそのアプローチに於いては多角的（multilateral）であり、その運営に於いては双務的（bilateral）である。コロンボ計画の審議の特徴は融通性と形式ばらないということである。例えば、正式な投票形式は審議会に於いても又協議委員会に於いてもとられない。加盟国代表は単にその意見を述べるにとどまる。参加代表の間で意見の異なる問題は懸案事項として残り、コロンボ計画の不文律として、若し、一人でも賛成しない代表が居れば、決議は行なわれず又いかなる事業も始められない。しかし、実際には大抵の場合、反対意見を述べている少数派も最終的には今では有名になつている〝コロンボ・プラン精神〟にのつとつて、多数派に賛成することになる。これは今ではコロンボ計画の不文律〝合意の原則〟となつている。この原則の重要な結果の一つは、過去数カ年に亘つて善意と理解の蓄積がなされ、それは、無形の要因ではあるが、貴重な資産である。

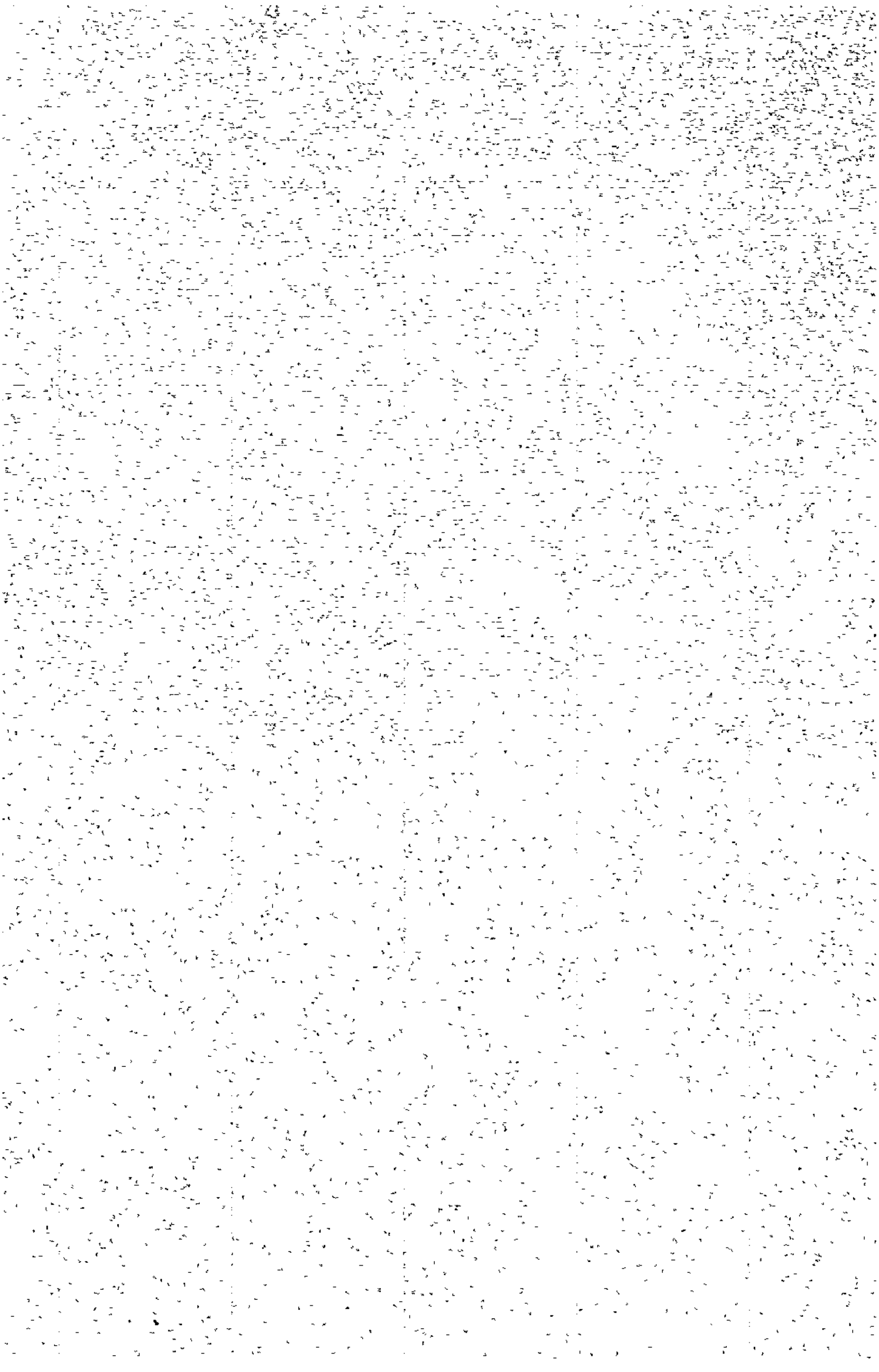
このことは、コロンボ計画が、それ自体の雰囲気、精神或いは神秘性を有している投言を裏づけるものである。

共通の目的をなし遂げようという協力への強調、成文律や行政機構に頼るよりも加盟国間の善意への信頼がコロンボ計画の成功の鍵となつている。

コロンボ計画加盟国

加盟国一覧と、加盟国が協議委員会及び審議会に始めて参加した年代とが次表にかかげてある。この表によつても、コロンボ計画加盟国数が年々増加していることを示している。

第　1　部



第 1 部
技能者訓練施設総覧

本編は、ハンドブック第二版の要覧を新たに改訂したもので、技能者訓練施設およびそのような訓練施設を備えた一般企業双方に送つた調査票に対する回答を収録したものである。本要覧には、技能者レベルの研修を実施している教育施設、政府部局、研究所および一般企業が掲載されており、したがつて若干の例外を除いては、職工レベルあるいは高度に専門的なレベルの研修は除いてある。

このハンドブックは、国際間で広く利用されることを目的としているので、近隣諸国からの研修生を受入れている研修施設のみに限定してきた。

国別の節では、公の教育施設を一般企業の訓練施設の前に置き、各項の施設はアルファベッド順にした。各機関は、国単位で分類されており、各国はアルファベッド順になつている。

各教育施設および訓練施設には、2種類の索引番号がふつてあり、最初の番号は国名、次の番号は各国の機関の索引となつている。たとえば土木工学11-1 の索引の所では、11は国別番号11、つまりシンガポールを指し、1はシンガポールの節の中の一番最初に分類された機関を指す。この場合シンガポール工芸学校（Prince Edward Road,Singapore 2.）である。

国別番号は以下の通りである。

1、アフガニスタン　2、ビルマ　3、セイロン　4、インド　5、インドネシア　6、イラン
7、韓　国　8、マレーシア　9、パキスタン　10、フイリピン　11、シンガポール
12、タ イ　13、ヴイエトナム

加盟国一覧表

	協議委員会開催地	協議委員会への参加国	技術協力審議会への参加国
1950	シドニー (5月)	オーストラリア	オーストラリア
		イギリス	イギリス
		カナダ	カナダ
		セイロン	セイロン
	ロンドン (9月)	インド	インド
		ニュージーランド	ニュージーランド
		パキスタン	パキスタン
1951	コロンボ	カンボディア	カンボディア
		ラオス	
		アメリカ	
		ヴイエトナム	ヴイエトナム
1952	カラチ	ビルマ	ビルマ
		ネパール	ネパール
1953	ニューデリー	インドネシア	インドネシア
1954	オタワ	日本	日本
		フイリピン	フイリピン
		タイ	タイ
1955	シンガポール		ラオス
1956	ウエリントン		
1957	サイゴン	マラヤ連邦（現マレイシア）	
1958	シアトル		マラヤ連邦（現マレイシア）
1959	ジヤカルタ	シンガポール	アメリカ
1960	東京		シンガポール
1961	クアラルンプール		
1962	メルボルン	ブータン	
		韓国	
1963	バンコック	アフガニスタン	ブータン
		モルデイヴ	韓国
1964	ロンドン	シンガポール	
		イラン	
1966	カラチ	シンガポール	
		イラン	
1967	ラングーン		シンガポール
			イラン

アフガニスタン

1、1　機関名　アフガニスタン工業技術訓練所、Kart-e-Char
所属機関　文部省
研修コース

自動車機械学
航空技術
ビル建築
土木技術
電気および電子技術
機械技術
（研修期間 4年）

研修開始時期　12月15日
資格
年令　16〜18才
学歴　9学年卒業
言語　ダリ語およびプシュトゥ語
その他必要な資格

試験　入学試験
使用言語　英語およびダリ語
取得できる修了証　学士号
宿泊施設
その他　米国AIDの援助あり

ビルマ

2、1　機関名　船舶用ディーゼルエンジン地域研修センター，Rangoon
所属機関　ビルマ政府
研修コース

船舶用ディーゼル
コースは次の3部門に分れている
(1) 操作実習
(2) 基礎工学
(3) 舶用ディーゼル機関学
（研修期間 11カ月）

ビ　ル　マ

研修開始時期　9月
資　　　　格
年　　　　令　24～35才
学　　　　歴　一般課程8年
言　　　　語　英語（読解、作文、会話）
その他必要な資格　船舶用ディーゼルエンジンの機械工として最低2年の経験を有すること。

試　　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証　研修終了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
そ　の　他　ILO、コロンボプラン、エカフエの援助あり

セイロン

3、1　機　関　名　セイロン工業大学，Katrebectcta，Moratuma
所属機関　教育文化省
研修コース　自動車工学、土木工学、化学工学、電気工学、電子工学、電気通信　　研修期間　技能者養成の3年コース
機械工学　就労中の者のみを対象とする定時制の2年コース

研修開始時期　10月1日
資　　　　格
年　　　　令　16才以上
学　　　　歴　外国語、数学、物理学を含む6科目の普通修業証書
言　　　　語　なし
その他必要な資格　なし

試　　　　験　選抜入学試験
使用言語　英語

セ イ ロ ン

取得できる修了証	技能者＝国家資格（Certificate）
宿泊施設	あり
その他	(1) コロンボ計画にもとづくカナダおよびUNDPによる援助あり。
	(2) 夜間コースとして、建築学、ビル建設、電気工学、機械工学、都市工学、構造工学もあり。

3、2

機関名	総合病院レントゲン診療課セイロンレントゲン技術学校，Colombo
所属機関	保健局
研修コース	レントゲン写真技術　　研修期間２ヵ月、
研修開始時期	１月１日
資格	
年令	１７～２３才
学歴	高等学校卒または物理、数学を含めた６科目の普通終業証書を有する者。
言語	
その他必要な資格	写真の知識があれば優先。
試験	選抜試験および面接試験により選考。
使用言語	英語
取得できる修了証	ロンドンレントゲン師協会の終了証書（Diploma）
宿泊施設	なし
その他	(1) WHOおよびコロンボ計画の援助あり。
	(2) 海外からの個人の志望者は、1,200ルピーの授業料で参加可能

3、3

機関名	Hardy，工業専門学校，Amparai
所属機関	教育文化省
研修コース	(1) 中級技能者コース（土木工学、電気工学、機械工学）　研修期間２年間
	(2) 測量　１年

セイロン

研修開始時期　１０月の第一週
資　　　　格
年　　　　令　１６才以上
学　　　　歴　高卒あるいは物理、化学、数学および英語の普通修業証書を有する者。
言　　　　語　英語堪能
その他必要な資格

試　　　　験　公開試験および面接
使用言語　英語
取得できる修了証　終了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
そ　の　他　ＦＡＯ，ＡＩＤ，コロンボ計画（イギリス、カナダ、インド）およびアジア基金の援助あり。

3、4

機　関　名　測量および地図技術研究所，Diyatalama
所属機関　測量部共同による国連およびセイロン政府合同計画
研修コース　測量（水準測定を含む）
一上級技能者レベルまで　　研修期間 1年

研修開始時期　１月
資　　　　格
年　　　　令
学　　　　歴　普通終業証書
言　　　　語　英語
その他必要な資格　技術専門学校の測量課程一年を終了した者。

試　　　　験　あり
使用言語　英語
取得できる修了証　終了証書（上級測量技能者レベル）
宿泊施設　あり
そ　の　他　(1)　ＵＮＤＰによる援助（特別基金）一専門家受入のため１２０万ルピー、機材購入のため１００万ルピー。
(2)　1967年2月より開始された本計画は、４年の期間を経た後、セイロン政府に引渡される予定である。

セイロン

3、5

機関名	医学研究所医学研究技術専門学校，Colombo
所属機関	保健局長
研修コース	研究技術（医学）　研修期間2年。
研修開始時期	10月の最初の週日
資格	
年令	17～25才
学歴	化学の単位の他、物理、植物学、動物学、生物学いずれか一科目を含む普通終業証書取得者
言語	普通終業証書取得程度の英語
その他必要な資格	
試験	選抜試験
使用言語	英語
取得できる修了証	終了証書（Certificate of Proficiency）
宿泊施設	なし
その他	WHOの援助あり

3、6

機関名	コロンボ商会，121，Sir James Pieris Mamata，Colombo
所属機関	私企業
業種	茶、ゴム、ココナッツ製成機械製造、土木、電気、冷凍技術
従業員数	専門技師：36、技能者：50 職　工：501
研修コース	各種技能（見習制）　4年 （機械、一般組立・鉄・非鉄金属鋳造、木工、電気）
研修開始時期	1月1日および7月1日
資格	
年令	20才以下
学歴	物理、数学、英語、シンハラ語の終業証明書取得者
言語	英語（読解、作文力）
実務経験	不要
試験	選抜試験

セ イ ロ ン

使　用　言　語　英　語
取得できる修了証　終了証書（Certificate）
宿　泊　施　設　な　し
そ　　の　　他　(1)　海外と研修生２名の交換可能
　　　　　　　　(2)　職工見習も可能

イ ン ド

4、1

機関名	Allahabad農業研究所，Allahabad Uttar Pradesh
所属機関	インドおよび海外の教会による共同事業を代表する理事会
研修コース	(1) 中級農業技術 (2) 酪農（Diploma）} 研修期間2年。
研修開始時期	7月10日頃
資格	
年令	制限なし
学歴	(1) 高等学校卒 (2) 高等中学卒または大学入学資格取得あるいはそれと同程度の学歴があること。
言語	英語（高卒程度）
その他必要な資格	地方出身者を望む。
試験	なし
使用言語	英語、ヒンドウー語も多少必要
取得できる修了証	(1) Uttar Pradeshの高等学校・中等教育委員会終了証書（Certifiate） (2) インド政府、酪農教育委員会終了証書
宿泊施設	男子および女子の宿泊施設あり
その他	(I) 上記の他に農業、農業工学、家政学の学位コースもある。 (II) 援助受入先 (a) AID、(b) フォード財団 (c) ロックフエラー財団、(d) 経済文化審議会、(e) オクスフォード飢餓救済委員会、(f)英国飢餓救済運動 (g)西ドイツ教会飢餓救済運動

※ Matriculation (4.1) 大学入学資格

インド

4、2

機関名	インド公衆衛生研究所，110，Chittarangan Avenue,Calcutta-12
所属機関	インド政府、保健省
研修コース	公衆衛生工学　6カ月 （本コースは、大学学位以下の公衆衛生指導員の資格を持つ者に対し、基礎的な公衆衛生技術の研修を行なうことが目的である。）　3カ月間の講義の後試験があり、残りの3カ月はそれぞれ実習を受ける。
研修開始時期	7月1日
資格	
年令	特に制限はないが、40才以下であることが望ましい。
学歴	大学の学位以下の土木工学の資格、例えば土木工学資格。
言語	英語
その他必要な資格	本コースは、地方自治体の公衆衛生当局の指導員に特に有益である。
試験	選考試験
使用言語	英語
取得できる修了証	公衆衛生学終了証書
宿泊施設	若干名なら収容可能
その他	(I) 本機関は、本来公衆衛生、栄養学等の大学院課程を主としている。 (II) UNISEF、AID、WHO、フォード財団の援助あり。

4、3

機関名	インド医学研究所、Ansari Nager,New Delhi-16
所属機関	連邦議会の法令により設置された独立法人
研修コース	(1) 医学研究技術 (2) 臨床医学技術 (3) (a)聴力測定　(b)放射線学　(c)視力検定 (d)視軸矯正　(e)物理療法 (4) 電子技術 研修期間2年

※ Selection on merit on merit basis (4.2) 成績順

4、3 研修開始時期 7月15日
資格
年令 7月1日現在で16才である者
学歴 高等中学校卒ないしは物理学、化学生物学、数学、英語について同等の学力を有すること。
言語
その他必要な資格 物理療法コースの場合は、医学部予科または理学部、あるいは物理、化学、生物および英語について、それと同程度の学力があること。

試験
使用言語 英語
取得できる修了証 終了証書(Diploma)
宿泊施設 なし
その他

4、4

機関名 中央養蜂研究・研修所,839/1,Shinajinagar, Poona-4
所属機関 Khadi・V.I.Commission
研修コース 養蜂家研修コース 研修期間 6カ月

研修開始時期 1月
資格
年令 18～25才
学歴 自然科学系の短期大学卒
言語 英語
その他必要な資格 自然科学関係の学歴があることが望ましい。

試験 なし
使用言語 英語
取得できる修了証 終了証書(Certificate)
宿泊施設 暫定的な宿泊所の斡旋は可能
その他 本コースを一年の固定のディプ・ロマコースに格上げすることが検討されている。

※ Intermediate(4.4)短期大学

イ ン ド

4、5

機関名	漁業技能者訓練センター，Denans Road, Ernakulan
所属機関	農業省
研修コース	(1) 漁労長コース　(2) 機関士 〃　(3) 漁船建造監督者コース　研修期間 15カ月 (4) 漁具技能者　9カ月
研修開始時期	1月
資格	
年令	17〜30才
学歴	大学入学資格取得者
言語	
その他必要な資格	この分野の仕事をするにふさわしい健康、および経験を有することが望ましい。
試験	
使用言語	英語
取得できる修了証	修了証書（Certificate）
宿泊施設	あり
その他	

4、6

機関名	中央皮革研究所，Madras-20
所属機関	インド政府産業科学審議会
研修コース	皮革技術　研修期間 (1) 短期再訓練コース　3カ月 (2) 皮革産業関連団体の後援による研修　6週間〜3カ月 (3) 地方の研修所の担当官の短期再訓練コース　2カ月 (4) 見習コース　6カ月〜1年間
研修開始時期	(1)、(2)7月1日、10月1日、1月1日、4月1日 (3)5月1日、(4)7月
資格	
年令	
学歴	
言語	実用的な英語の知識を持つていることが望ましい。

その他必要な資格　コース参加希望者は、皮革関係の会社、機関の関係の者に限る。

試　　　験

使 用 言 語　英 語

取得できる修了証　終了証書は出さないが、コース終了の証明書を与える。

宿 泊 施 設

そ　の　他　(1) 本研究所の主要目的は、皮革産業の新しい技術を開発し、科学的な知識を普及し、技能者を養成することにある。また学士、修士、博士課程があり、職工の研修コースもある。

(2) 本研究所は、マドラス大学と緊密に連係を保つて業務を行なつている。

4、7

機　関　名　中央工芸学校，Adyar，Madras－20

所 属 機 関　マドラス州政府技術教育理事会

研 修 コ ー ス

		研修期間
(1)	土木、機械、電気工学	3年
(2)	漁業技術、航海技術	3年
(3)	機械工学	4年
(4)	冷房および空気調節	2年
(5)	都市計画	

研修開始時期　6月の第2週

資　　　格

年　　　令　(4)(5)の年令制限なしを除いて15～20才

学　　　歴　中等学校終了証書（Certificate，S.S.L.C）

言　　　語

その他必要な資格

試　　　験

使 用 言 語　英 語

取得できる修了証　終了証書（Diploma）

宿 泊 施 設　あ り

そ　の　他　(1) 他に土木、機械、電気および電気技術監督者資格取得のための定時制コースがある。

(2) AIDの援助あり。

※S.S.L.C.，S.S.C.(4.7)Secondary School Leaving Certificate.

イ　ン　ド

4、8

機関名	中央電気通信訓練センター，Trivandrum，Kerala
所属機関	インド政府郵政省
研修コース	電気通信　研修期間1年 （研修科目：電信、電話、搬送通信、電話線路— ５０％理論５０％実技）
研修開始時期	不定期
資格	
年令	特に制限はないが３５才以下が望ましい。
学歴	自然科学系の短期大学卒（学位を有していることが望ましい。）
言語	英語堪能
その他必要な資格	健康であり視力が良いこと。
試験	大学程度の選抜試験
使用言語	英語
取得できる修了証	なし
宿泊施設	研修生２００名受入可能
その他	

4、9

機関名	職業訓練指導者研修センター，Bomleay
所属機関	労働省雇用訓練局長
研修コース	以下の職種の職業訓練指導者コース　研修期間1年 鉄工、木工、製図（土木、機械）、電気、研摩、組立、機械組立（機具、モーター）、鋳造、金属板、原型、調律、溶接、電線
研修開始時期	８月１日
資格	
年令	２０～４０才
学歴	大学入学資格取得者またはそれと同程度の学力があること。
言語	
その他必要な資格	当該職種の公認の終了証と実務経験を有すること。
試験	なし

※ M.Sc.(4、19)　Master of Science

インド

使用言語　英語、ヒンディー語および研修地の地方語
取得できる修了証　国家職業訓練審議会認可の終了証書
(Certificate)
宿泊施設　あり
その他　AIDの援助あり

4、10
機関名　職業訓練指導者研修センター，Calcutta
所属機関　労働省雇用訓練局長
研修コース　以下の職種の監督者研修コース　研修期間1年
鉄工、木工、製図（土木、機械）、電気、研摩、組立、機械製造（機具、モーター）、鋳造、金属板、原型、調律、溶接、電線、製糸、刺しゆう、手織

研修開始時期　8月1日
資格
年令　20～40才
学歴　大学入学資格取得者又はそれと同等の学力を有するもの。
言語
その他必要な資格　当該職種の公認の終了証と実務経験を有すること。

試験　なし
使用言語　英語、ヒンディー語
取得できる修了証　国家職業訓練審議会認可の終了証書
(Certificate)
宿泊施設　あり
その他　米国の特別基金プログラムの援助受入

4、11　機関名　職業訓練指導者研修センター（Hyderabad）
その他　米国の特別基金プログラムの援助受入
以下4、9に同じ。

4、12　機関名　(Kanpur)
以下4、11に同じ。

※ B.Sc.(4、19)　Bachelor of Science

イ ン ド

4、13 機関名 (Ludhiana)
以下4、11に同じ。

4、14 機関名 (Madras)
以下4、11に同じ。

4、15 機関名 (New Delhi)
以下4、10に同じ。

4、16

機関名	Chandigraph建築大学，Chandigraph
所属機関	Chandigraph州政府
研修コース	建築学 研修期間3年
研修開始時期	8月1日
資格	
年令	15～21才
学歴	大学入学資格取得者
言語	
その他必要な資格	
試験	
使用言語	英語
取得できる修了証	終了証書 (Diploma)
宿泊施設	あり
その他	同じく建築学の5年課程もある。

4、17

機関名	民間航空研修センター，(空港科) Allahabad
所属機関	ニューデリー民間航空総裁
研修コース	

	研修期間
(1) 航空管制 (初級)	8カ月
(2) 航空管制 (再研修)	14週間
(3) 航空路研修	5週間
(4) 空港管理 (初級)	9カ月
(5) 空港管理 (再研修)	8週間
(6) 上級空航管制官コース	3週間

※ ClassⅧ (4、32) 日本の中学の高学年に相当

イ ン ド

研修開始時期 特になし

資　　　　格

年　　　　令 (1)、(2)の場合19～25才

学　　　　歴 (1)、(2)の場合、工学、物理および数学において学位を有するもの。

言　　　　語 英 語

その他必要な資格

試　　　　験

使 用 言 語 英 語

取得できる修了証

宿 泊 施 設 あ り

そ　の　他

4、18

機　関　名 民間航空研修センター（通信科）, Allahabad

所 属 機 関

研修コース

		研修期間
(1)	無線技能者（初級）	6カ月半
(2)	無線技能者（上級）	2カ月半
(3)	通　信　士（初級）	3カ月
(4)	テレタイプ通信士	2カ月
(5)	長距離電話	3カ月
(6)	通信技術補佐	3カ月
(7)	技術補佐	
(8)	Uisual VHF／VOR技能者	
(9)	着陸施設、レーダー技能者	4カ月
(10)	上級職員再研修	4カ月

研修開始時期

資　　　　格

年　　　　令

学　　　　歴 (1)、(2)、(4)、(8)、(9)無線工学において大学入学資格を有するもの（Diploma）、(3)、(5)通信技術において大学入学資格を有する者（Certificate）(10)電気通信関係の大学学位取得者

言　　　　語 英 語

※ One season (4、37)

その他必要な資格

試　　　験　なし
使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　あり
その他　コロンボ計画の援助あり

4、19

機関名　国立酪農研究所酪農大学，Karnal, Haryana
所属機関　インド農業研究審議会
研修コース　　　研修期間
(1) 酪農業　　2年
(2) 酪農技術　　9ヵ月

研修開始時期　7月1日
資格
年令　16～23才
学歴　高等中学卒またはそれと同等の学力を有するもの。
言語
その他必要な資格

試験　面接試験
使用言語
取得できる修了証　酪農教育委員会の終了証書
宿泊施設　あり
その他　(i) 他に以下のコースがある：(1)大学院課程　博士課程（Ph.D.）（酪農技術）(2)理学修士（酪農）(3)理学士（酪農）(4)酪農技術再研修コース　酪農普及　市場用ミルクプラント操作および乳製品生産の短期特別コース
(ii) コロンボ計画，FAO，USAIDの援助受入
※M.Sc (4.19) Master of Science
※M.Sc (4.19) Bachelor of Science

4、20

機関名　船舶工学研修理事会カルカッタ本部，P19，Taratolla Road, Calcutta-53
所属機関　運輸省　支部，Hay Bunder, Tank Road, Bombay-33

※I.Sc.(4、37)　Inter mediate in Science

イ　ン　ド

研修コース　船舶工学　研修期間4年
（期間は4年間、カルカッタとボンベイの指定の船舶工場で3年間見習の後、最後の1年間カルカッタの船舶工科大学で理論および実習による集中研修を行なう。）

研修開始時期　8月1日
資　　格
年　　令　16〜19才
学　　歴　数学、物理、化学を含めた理工系ないしは技術系の高等中学または同等の学力を有する者
言　　語　英語
その他必要な資格

試　　験　筆記および面接試験
使用言語　英語
取得できる修了証　運輸省発行の終了証書（Certificate）
宿泊施設　あり。入寮は義務制
そ の 他　コロンボ計画援助受入

4、21

機関名　実習船"Dufferin号" Off Mazgaon埠頭、Bombay-10
所属機関　インド政府運輸省
研修コース　航海　研修期間
（民間船舶の航海士養成のための研修）　2年

研修開始時期　8月24日
資　　格
年　　令　15才半〜18才
学　　歴　大学入学資格取得者または中等学校終了者（Certificate, S.S.L.C.）または同等の学力を有する者
言　　語　英語堪能
その他必要な資格

試　　験　検定試験および面接

イ　ン　ド

使 用 言 語　英 語
取得できる修了証
宿 泊 施 設　見習生は、研修中は船上で生活する。休暇中の宿泊設備はない。
そ の 他　本コースを終了することにより、専門試験のため１年間航海従事する資格が得られる。

4、22

機 関 名　インド映画研究所，Law College Road,Paona-4
所 属 機 関　インド政府情報放送省
研 修 コ ー ス　　研修期間
(1) 映画撮影技術　3年
(2) 音声録音技術　3年

研修開始時期　7月1日
資 格
年 令　17〜30才
学 歴　物理、化学系の短期大学卒
言 語　英 語
その他必要な資格　本コースに適性であること。

試 験　英語による一般常識、物理、化学
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　終了証書（Diploma）
宿 泊 施 設　男女別の寮あり
そ の 他　(1) 映画シナリオ、監督、演出、編集のコースもある。
(2) 海外からの研修生２名、各コースとも収容可能。
(3) 本研究所は、域内では唯一のこの種の研究所であり、最新の機材、優秀なスタッフをそろえている。
フランス、ポーランド、ソ連、ユーゴスラビア、ユネスコの援助あり。

4、23

機 関 名　州立中央専門学校（工芸），Gwalior
所 属 機 関　Madhya Pradesh 州政府文部省

イ ン ド

研修コース (1) 土木工学 ⎫
(2) 機械 〃 ⎬ 研修期間 3年
(3) 電気 〃
(4) 繊維技術 ⎭
(5) 構造工学 Diplomaを取得した後の1年

研修開始時期 7月1日
資格
年令 15〜21才
学歴 (1)〜(4)大学入学資格取得者、(5)土木工学の終了証書(Diploma)取得者
言語 英語(試験はない)
その他必要な資格 健康であること。

試験 なし
使用言語 英語
取得できる修了証 技術教育委員会の終了証書
宿泊施設 あり(150室)
その他 特別の語学教育の準備あり

4、24

機関名 州立皮革研修所, Parbati Bagla Road, Kanpur
所属機関 Uttar Pradesh州政府
研修コース (1) 皮革技術(鞣し技術) ⎫ 研修期間2年
(2) 製靴 〃 ⎭

研修開始時期 8月10日
資格
年令 14〜21才
学歴 (1) 高等学校、高等中学またはそれと同等の学歴で、数学、理科で最低45%の成績を取つている者。

言語 ヒンデイー語の知識があることが望ましい。
その他必要な資格 規定の健康状態

試験 資格試験の成績順による入学
使用言語 (1)英語 (2)ヒンデイー、英語

取得できる修了証　ウタールプラデシュ技術教育委員会終了証書 (Diploma)
宿泊施設　あり（制限あり）語学教育の準備あり。
その他

4、25

機関名　州立皮革技術研修所，Mall Road,Morar, Gwalior,Madhya Pradesh
所属機関　Madhya Pradesh州政府文部大臣
研修コース

	研修期間
皮革製品および皮靴製造技術	3年
皮革技術	2年

研修開始時期　7月の第1週
資格
年令　15～21才
学歴　高等中学卒
言語　ヒンデイー語および英語の知識を有すること。
その他必要な資格

試験　なし
使用言語　英語、ヒンデイ語
取得できる修了証　終了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他　州政府に認可された特別の語学教育がある。

4、26

機関名　州立工芸学校，Gulzarbagh,Patna-7
所属機関　技術教育
研修コース　(1) 機械工学
(2) 電気工学
(3) 繊維技術
(4) 窯業
研修期間 3年

研修開始時期　6月
資格

年　　　令　15～21才
学　　　歴　高等学校卒で、(1)は物理 (2)化学 (3)高等数学 (4)初等数学の学歴を有する者
言　　　語　英語、ヒンディー語
その他必要な資格　健康であること。

試　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証　ビハール州技術教育評議会の終了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他

4、27

機関名　州立工芸学校，Poona University Road, Poona-16
所属機関　Maharashtra州政府文部省、社会福祉局
研修コース
(1) 土木工学
(2) 機械工学
(3) 電気工学
(4) 電気通信
(5) 冶金
研修期間3年

研修開始時期　6月の第1週または第2週
資　　　格
年　　　令　21才まで
学　　　歴　高等学校卒または同等で、科学一般（または物理、化学）、初級数学（または代数、幾何）、英語の学歴を有する者
言　　　語　英語
その他必要な資格

試　　　験　なし
使用言語　英語
取得できる修了証　マハラシエトラ州技術教育委員会終了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他

イ ン ド

4、28

機関名	穀類貯蔵研究研修センター, Hapur,Uttar Pradesh
所属機関	ニューデリー、クリシイブハバン農業省
研修コース	穀類貯蔵 （穀類の貯蔵、取扱い、品質検査、害虫予防の科学的方法の研究）
研修開始時期	
資格	
年令	
学歴	生物学の学歴がある方が好ましい。
言語	英語ないしはヒンディ語 の実用知識があること。
その他必要な資格	穀物類を扱つたり、貯蔵する経験があること。
試験	なし
使用言語	英語、ヒンディ語
取得できる修了証	終了証書（Certificate）
宿泊施設	あり
その他	FAOの援助あり

4、29

機関名	インド手織機技術訓練所, Chowkaghat,Uaranasi-2
所属機関	全インド手織機委員会
研修コース	手織機技術　3年間
研修開始時期	7月1日
資格	
年令	18～25才
学歴	高等学校卒または同等で物理、化学、数学の学歴を有すること。
言語	英語を読み書きできること。
その他必要な資格	
試験	
使用言語	英語
取得できる修了証	全インド手織機委員会の手織技術終了証書（Diploma）
宿泊施設	若干名なら可能

そ　の　他	他に織工、染色工、意匠工、柄作り工、Jala工の4カ月の再研修コースがある。 7月1日、11月1日研修開始、年令制限なし。

4、30

機　関　名	インドラック研究所，Namkum,Ranchi(Bihar)
所 属 機 関	インド農業研究会議
研修コース	ラック栽培　　研修期間6カ月 (昆虫の生態、季節ごとの栽培技術を含めたラック栽培の新しい技術)
研修開始時期	4月、10月
資　　　格	
年　　　令	制限なし
学　　　歴	大学入学資格取得程度の学歴があること。
言　　　語	実用的な英語の知識
その他必要な資格	ラック栽培に興味のある人が、常に採用される。またその仕事に従事しようとする者も同様である。
試　　　験	な　し
使 用 言 語	英語またはヒンディ語
取得できる修了証	終了証書(Certificate)
宿 泊 施 設	あ　り
そ　の　他	他にラックの加工技術を含めた工業利用についての6ヶ月コースがある。

4、31

機　関　名	インド鉄道信号、電気通信技術学校，Ministry of Railways,Secunderabad-17
所 属 機 関	インド政府鉄道省
研修コース	研修期間 (1) 鉄道信号手見習初級コース　11カ月 (電気、機械および閉塞式信号) (2) 鉄道通信士見習初級コース　18カ月
研修開始時期	コースはすべて同時に開始され、年間を通じて行なわれる。
資　　　格	

イ ン ド

年　　　令　なし
学　　　歴　(1) 鉄道信号手見習：中等学校卒（S.S.L.C）か、または同等の学力を有するもので機械または電気工学の終了証書（Diploma）を有することが望ましい。
(2) 鉄道通信士見習：物理および数学の学位があることが望ましい。
言　　　語　英語堪能
その他必要な資格

試　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証　終了証書（Certificate）
宿泊施設　家具つきの宿舎あり
そ　の　他　(a)再研修コース：信号手、通信士、テレタイプ技師
(b)指導官再研修コース
(c)以下の昇進コースがある：鉄道信号手補佐、鉄道通信士補佐

4、32

機　関　名　ジュート技術研究所，35Ballygunge Circular Road,Calcutta 19
所属機関　インドジュート工業会
研修コース　ジュート技術
(1) 大学院課程　3 年
(2) 中級監督者コース　5 カ月

研修開始時期　(1)10月 (2)1月
資　　　格
年　　　令　(1)25才以下 (2)25才以上
学　　　歴　(1) 数学、物理、化学の学士号を有する者
(2) 高等中学卒（Class VIII）
言　　　語　英語（試験は行なわない）
その他必要な資格

試　　　験　面接
使用言語　英語
取得できる修了証　(1)終了証書（Diploma）、(2)なし

イ ン ド

宿 泊 施 設 なし

その他 (1) 大学院課程は、ジュート工場で一年間の事前実習がある。 (2) 本研究所はカルカッタ大学に付属している。

4、33

機関名 国際統計学教育センター，303 Barrackpore Trunk Road, Calcutta-35

所属機関 ユネスコおよびインド政府の賛助の下に、ハーグの国際統計学研究所、カルカッタのインド統計学研究所の両者により共同で運営されている。

研修コース 統計学　研修期間

(1) 常設コース　10カ月

(2) 選択コース　3〜12カ月

(3) 上級統計家コース　3〜6カ月

研修開始時期 (1)7月 (2)、(3)年間を通じて何時でも。

資格

年令 制限なし。

学歴 (1) 学士号を有することが望ましい。

(2) 統計についてある程度知識を有すること。

(3) 統計学について十分知識があること。

言語 英語堪能

その他必要な資格 (1) 統計業務の経験があること。

(2) 選択科目について経験があること。

(3) 選択する研究分野について十分な評価のある上級統計家であること。

試験 なし

使用言語 英語

取得できる修了証 (1)コースを完全に終了したが、終了試験に合格できない者に対しては、出席したことを証明する終了証書を与える。

(2)、(3)終了証書は授与されない。

宿泊施設 若干名収容可能

その他 本センターの施設は、コロンボ計画の下に、海外からの研修生に利用されている。

イ　ン　ド

4、34

機関名	Lal Bahadur Shastri 海洋工科大学，Hay Bunder Road, Tank Road P.O., Bombay-33
所属機関	運輸省
研修コース	航海術、船員再研修および船舶技術　研修期間3〜6ヶ月 (1)船長F.G.　(2)一等航海士F.G.　(3)二等航海士F.G.　(4)船長H.T　(5)航海士H.T　(6)漁船船長　(7)二級漁船員　(8)内海航海免許　(9)商船レーダー手　(10)一級技師　(11)二級技師　(12)蒸気、電気機関免許
研修開始時期	1月
資格	
年令	(3)19才　(11)21才
学歴	(3)、(11)航海に従事した経験があればよい。
言語	英語
その他必要な資格	(3)4年間の航海経験 (11)21カ月の見習航海
試験	(3)船員および直接入学の見習生に対してのみ。　なし。
使用言語	英語
取得できる修了証	終了証書（Certificate）
宿泊施設	あり
その他	船長予課コースもある。

4、35

機関名	鉱炭研究所，Dhanbad，Bihar
所属機関	ビハール州政府　産業省
研修コース	採鉱および鉱物資源探査　3年
研修開始時期	8月1日
資格	
年令	17〜21才
学歴	中等学校卒または大学入学資格取得程度で、物理、化学および初等、高等数学の学歴があること。
言語	ヒンディ語、英語
その他必要な資格	中等学校で物理、化学、中、上級数学を履修していること。

インド

試験成績順
使用言語 ヒンディ語
取得できる修了証 終了証書（Diploma）
宿泊施設 あり
その他

4、36

機関名 国立物理研究所, Hillside Road, New Delhi-12
所属機関 インド政府科学技術審議会
研修コース (1) ガラス器製造 (2) 工場実習 ｝ 研修期間 期間の定めはないが通常3年間

研修開始時期 特に定めなし
資格
年令 特に制限はないが、18才程度が望ましい。
学歴 高等学校卒または大学入学資格取得程度。
言語 実用的な英語の知識
その他必要な資格 工業技術研修所で研修を受けた者は優遇

試験
使用言語 英語
取得できる修了証 研修期間及び科目を証明した終了証書(Certificate)
宿泊施設 なし
その他 (i)各コースとも2、3名の海外研修生受入可能
(ii)ユネスコ、AID及びコロンボプランの援助あり。

4、37

機関名 国立精糖研究所 Kalyanpur, Kanpur
所属機関 食糧農業社会開発協力省食糧局ニューデリー
研修コース (1) 精糖工学 (Certificate)
(2) 砂糖分留技術 (〃)
(3) サトウキビ熟成度検査 (〃)

研修開始時期 7月15日
資格
年令 制限なし

イ ン ド

学　　　　　歴　(1)　2シーズンの工場勤務経験のある技術資格を持つた者
(2)　大学入学資格取得者で、物理、化学、数学の学歴があり、工場で1シーズンの砂糖精製の実務経験を有すること。
(3)　自然科学系の短期大学卒または同等の学力を有する者で、精糖工場の研究または実習で2年の経験があること。
(4)　短期大学卒

言　　　　　語　英語堪能

その他必要な資格　な し

試　　　　　験　精糖技術および精糖工学に関する試験

使 用 言 語　英 語

取得できる修了証　終了証書（Certificate）

宿 泊 施 設　あ り

そ　の　他　他に以下の研修を行なつている。
(a)　本研究所の学士コース：精糖工学、精糖技術、精糖化学
(b)　精糖工学、精糖技術の准学士コース
(c)　発酵工業およびアルコール技術のコース（Diploma）
(d)　Khandsari Karigars コース（職工）

4、38

機　関　名　北部営林専門学校（Northan Forest Rangers College),Dehra Dun,Uttar Pradesh

所 属 機 関　インド政府食糧農業省

研 修 コ ー ス　森林学一監視人課程　　　研修期間2年
（林学、土地管理および土壌保持、森林測定法、森林利用、植物学、森林動物、森林工学、森林測量、土壌科学、地質学、森林防衛、インドトリー植林法、植林方法、森林管理、森林財政、森林政策と法律、野外生活管理）

研修開始時期　10月1日

資　　　　　格

年　　　　　令　18～20才

学　　　　　歴　自然科学系短期大学卒または数学、物理、化学、植物および動物学のうち2科目において、同等の学力を有するもの。

言　　　　　語　英 語

その他必要な資格 規定水準の健康

試　　　験 資格試験および面接
使用言語 英語
取得できる修了証 3段階の修了証書(Certificate)
(a) 優 (Honours)－75%以上
(b) 良 (Higher standard－55%～74%)
(c) 可 (Lowor standard)－40%～54%
宿泊施設 あり
そ の 他 本大学は基本的に州政府および中央政府によつて保証された者を研修する。

4、39

機 関 名 北部印刷技術学校 (Northern Regional Institute of Prenting Technology), Allahabad－4
所属機関 Uttar Pradesh州政府専門教育理事会 (Directorate of Technecal Education)
研修コース 印刷技術

	研修期間
(1)印刷技術修了証書 (Diploma) コース (活字印刷)	3年
(2) 〃 〃 (石版印刷)	3年
(3)活字印刷修了証書 (Diploma) コース (石版印刷の終了証書(Diploma) 取得者を対象)	1年
(4)石版印刷修了証書 (Diploma) コース (活字印刷の修了証書(Diploma) 取得者を対象)	1年

研修開始時期 7月15日
資格
年 令 14～21才
学 歴 高等学校卒またはそれと同等の学力を有するもの
言 語 ヒンディおよび英語 (無試験)
その他必要な資格 健康

試　　　験 成績順選抜
使用言語 ヒンディ語および英語
取得できる修了証 修了証書 (Diploma)
宿泊施設 あり

その他　米国AID、コロンボ計画（英国）、チエコスロバキアおよびソ連による援助

4、40

機関名　Orissa鉱業学校,P.O.Keonjhargarh,Kenjhar地区
所属機関　Orissa 州政府，工業局
研修コース　鉱山技術，研修期間　3年

研修開始時期　7月1日
資格
年令　22～25才
学歴　大学入学資格取得者および数学または自然科学課程の高校修了（Certificate）試験合格者
言語
その他必要な資格

試験
使用言語　英語
取得できる修了証　鉱山技術修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他

4、41

機関名　Shri A.V. Parekh専門学校，Rajkot
所属機関　Gujarat 州政府、専門教育部
研修コース

	研修期間
(1)電子工学および無線工学	2年
(2)音響工学	2年
(3)放送業務	1年
(4)無線電信	2年

研修開始時期　6月15日
資格
年令　(1)および(2)は22才、(3)および(4)は無制限
学歴　(1)および(2)は短期大学卒　(3)および(4)は物理、化学または一般科学および数学課程の中等学校修了証書（Certificate）（S.S.C）取得者

言　　　語
その他必要な資格

試　　　験　公開選抜試験成績順
使用英語　英　語
取得できる修了証　(1)および(2)は修了証書（Diploma）
(3)および(4)は修了証書（Certificate）
宿泊施設　あ　り
そ　の　他

4、42
機　関　名　印刷学校（Regional School of Printing），
85，Broadway，Madras-1
所属機関　Madras州政府、技術教育長官
研修コース　印刷技術　　研修期間
(1) 活字印刷（全日制）　3年
(2) 〃 （定時制）　5年
(3) 石版印刷　3年

研修開始時期　6月中旬
資　　　格
年　　　令　15〜20才（全日制）、無制限―（5年間の実務経験者）（定時制）
学　　　歴　修了証書（Diploma）取得課程：中等学校修了証書（Certificate）取得者（S.S.L.C.），
修了証書（Diploma）取得課程：（定時制）印刷企業の見習工または従業員
言　　　語　英　語
その他必要な資格　健康診断証明書

試　　　験
使用言語　英語およびタミール語
取得できる修了証　印刷技術者資格証明書
宿泊施設　な　し
そ　の　他　修了証書（Certificate）（定時制制）課程にはまた次のようなものもある：手植字、ライノ・タイプおよびインター・タイプ、活字印刷、製本及び包装、石版印刷、

次頁へつづく

そ の 他	石版および彫刻金属板製作、写真印刷、カメラ操作、石版技術（これらのうち1課程を選択する）

4、43

機 関 名	絹および人絹工業研究協会、Sasmira, Dr.Annie Besant Road, Bombay-25DD
所 属 機 関	絹および人絹紡績研究協会（Bombay-25, DD）常務理事
研 修 コ ー ス	繊維技術、合成製糸　　研修期間 (1) 合成繊維技術（全日制） (2) 合成繊維化学（全日制）　3年
研修開始時期	6月
資 格	
年 令	
学 歴	物理、化学および数学の中等学校修了証書（Certificate）(S.S.C) 取得者
言 語	英 語
その他必要な資格	工業の経験者
試 験	必要の際は実施する。
使 用 言 語	英 語
取得できる修了証	合成繊維技術修了証書（Diploma） 合成繊維化学修了証書（Diploma）
宿 泊 施 設	
そ の 他	なお、修了証書（Certificate-定時制）課程には次のようなものもある：合成繊維の織り方、合成繊維の湿法、繊維工業におけるSQCおよび合成繊維に関する短期再研修課程。

4、44

機 関 名	鉱業学校、Coromandal, Kolar Gold Fields, Mysor州
所 属 機 関	Mysor州政府
研 修 コ ー ス	鉱山学　研修期間3年。
研修開始時期	6月1日

イ ン ド

資　　　　格

年　　　　令　15～21才

学　　　　歴　大学入学資格取得者および選択科目として、自然科学、数学において大学入学資格取得者と同等の学力を有する者。

言　　　　語

その他必要な資格

試　　　　験　選考委員会によつて、面接時に口頭試問をおこなう。

使　用　言　語　英 語

取得できる修了証　修了証書（Diploma）

宿　泊　施　設　あ り

そ　　の　　他

4、45

機　関　名　製紙技術学校　Saharanpur

所　属　機　関

研　修　コ　ー　ス　パルプおよび製紙技術　　研修期間

(1)　修了証書（Diploma）　2年

(2)　修了証書（Certificate）　3年

研修開始時期　7月

資　　　　格

年　　　　令　(1)16～24才、(2)16～21才

学　　　　歴　修了証書（Certificate）課程では自然科学課程の高校卒、修了証書（Diploma）課程では自然科学の学士号取得者（B．Sc）

言　　　　語

その他必要な資格

試　　　　験　成績順による選考

使　用　言　語　英 語

取得できる修了証　Uttar Pradesh，Lucknowの専門教育委員会による修了証書（DiplomaおよびCertificate）

宿　泊　施　設　あ り

そ　　の　　他　スエーデン国際開発機構の援助あり。

インド

4、46

機関名	印刷技術学校，Raja Subodh Mullicls Road, Jadavpur,Culcutta-32
所属機関	インド中央政府および西ベンガル州政府による共管
研修コース	研修期間３年。 印刷およびグラフイック技術（印刷および写真）の資格取得課程
研修開始時期	
資格	
年令	１５～１８才　例外も認める
学歴	高等学校終了試験合格者または高等学校卒、または、それと同等の学力を有するもの。
言語	英語の基礎的知識を有すること。
その他必要な資格	自然科学課程をもつた高等学校修了者が望ましい。
試験	口頭試問
使用言語	英語
取得できる修了証	印刷およびグラフイック技術の資格取得証
宿泊施設	あり
その他	なお、その他、印刷およびグラフイック技術の資格取得課程として５年の夜間定時制課程があり、また、印刷技術および商業写真のための６カ月の再訓練課程、および政府機関の指定者のための特別課程がある。

4、47

機関名	土壌保持公開実験研究ならびに研修センター、２５Lytton Road,Dehra Dun, Utter Prodesh
所属機関	インド農業研究審議会（New Delhi）事務局
研修コース	研修期間５$\frac{1}{2}$カ月 水土保持
研修開始時期	４月１日および９月１６日
資格	
年令	
学歴	
言語	

その他必要な資格　州政府の農業、林業、技術等の部局に所属している正規職員であること。

試　　　験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿 泊 施 設　あ り
そ　の　他

4、48

機　関　名　土壌保持公開実験、研究ならびに研修センター，Odacamund-1
所 属 機 関　インド農業研究協議会
研修コース　水土保持
（(a)土壌、(b)栽培、(c)農業技術 (d)森林等の各分野に関し、山岳地域については特別に考慮する。）
(1) 正規官吏　5 $\frac{1}{2}$ カ月
(2) 非正規助手　6 カ月

研修開始時期　(1) 4月1日および9月16日
(2) 2月16日および8月16日
資　　　格
年　　　令　無制限
学　　　歴　(1) 農業、林業、技術の各政府部門に所属していること。
(2) 地理学及び技術学の大学卒業者、科学、農業、土木の大学卒業者、土木の学位取得者、営林職員免許取得者。
言　　　語　英語の基礎知識を有すること。
その他必要な資格

試　　　験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿 泊 施 設　あ り
そ　の　他

イ ン ド

4、49

機関名　国立酪農研究所南部支所（I.C.A.R.）Adugodi P.O.Bangalore-30
所属機関　インド農業研究審議会　New Delhi-1
研修コース　研修期間2年
(1) インド酪農免許取得（酪農技術）
(2) インド酪農免許取得（繁殖技術）

研修開始時期　7月1日
資格
年令　16～23才
学歴　(1) 高校卒または英語、物理、化学、数学において高校卒と同等の学力を有するもの。
(2) 高校卒または英語、物理、化学、植物において、それと同等の学力を有するもの、かつ、数学においては大学入学資格取得者またはそれと同等の学力を有する者。
言語　英語
その他必要な資格

試験　面接選考
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他　(1) 研究者のための大学院課程あり、また、乳生産、ミルクプラント操作、酪農普及方法のための短期課程あり。
(2) 国連児童基金および食糧農業機構（FAO）の援助あり

4、50

機関名　南部営林専門学校　Coimbatore Madras州
所属機関　インド政府、食糧・農業省
研修コース　営林所職員課程　研修期間2年。
（林学、森林利用、植物学、森林工学、調査・設計、自然地理学と地理学、土壌科学、森林法、会計および手続き）

研修開始時期　11月1日
資格

イ ン ド

年　　　　令　18〜24才
学　　　　歴　自然科学の短期大学卒業者または、数学、物理、化学、植物、動物の中の2科目で、それと同等の学力を有する者。
言　　　　語　英 語
その他必要な資格

試　　　　験　資格試験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　3種類の修了証書、(1)優 (2)良 (3)可
宿 泊 施 設　あ り
そ の 他

4、51

機　関　名　南インド繊維研究協会 Coimbatore Aerodrome P.O. Coimbatore-14
所 属 機 関　南インド繊維工場(Textile Mills in South India) 主管、科学・工業研究委員会後援
研 修 コ ー ス　経営研修（繊維）　研修期間2週間〜2カ月

(1) 品質管理
(2) 機械運転研究
(3) 作業研究
(4) 経営開発計画
(5) 原価および原価管理
(6) 中堅経営者研修
(7) 繊維試験
(8) 管理・監督者研修
(9) 人事管理

研修開始時期　不 定
資　　　　格
年　　　　令　25〜35才、ただし、上記の(4)と(6)は30〜40才
学　　　　歴　繊維関係の修了証書（Diploma）を有する者、または、自然科学系の大学卒業者
言　　　　語　英 語
その他必要な資格　繊維関係の経験があることが望ましい。

試　　　　験

イ　ン　ド

使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　なし
その他

4、52

機関名　技術訓練センター、Kakrapar Gujarat
所属機関　インド政府中央水利・水力委員会
研修コース　研修期間1年
土木建設用運搬機械の操作、保守、整備
(基本的機械学および土壌運搬に応用する建設機械の研究)

研修開始時期　6月1日
資格
年令　20～30才
学歴　大学入学資格取得者および高校卒業者
言語　英語
その他必要な資格　少なくとも1年間の当該科目又は自動車機械の実技経験者、および運転免許取得者。

試験
使用言語　英語
取得できる修了証　熟練工修了証書 (Certificate)
宿泊施設　あり
その他　米国AIDによる援助

4、53

機関名　技術訓練センター、Kota Rajasthan
所属機関　インド政府中央水利・水力委員会
研修コース　研修期間1年
土木建設用運搬機械の操作、保守、整備
(基本的機械学及び土壌運搬に応用する建設機械の研究)

研修開始時期　2月15日
資格
年令　20～30才
学歴　大学入学資格取得者および高校卒業者

イ ン ド

言　　　　語　英 語
その他必要な資格　少なくとも１年間の当該科目又は自動車機械の実技経験者、
　　　　　　　　　および運転免許取得者。

試　　　　験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　熟練工修了証書（Certificate）
宿 泊 施 設　あ り
そ　の　他　米国ＡＩＤによる援助

4、54

機　関　名　技術訓練センター、Nagarjunasagar Dam
　　　　　　Andhra Pradesh
所 属 機 関　インド政府中央水利・水力委員会
研 修 コ ー ス　研修期間１年
　　　　　　　土木建設用運搬機械の操作、保守、整備
　　　　　　　（基本的機械学および土壌運搬に応用する建設機械の研究）

研修開始時期　１１月１日
資　　　　格
年　　　　令　２０～３０才
学　　　　歴　大学入学資格取得者および高校卒業者
言　　　　語　英 語
その他必要な資格　少なくとも１年間の当該科目又は自動車機械の実技経験者
　　　　　　　　　および運転免許取得者

試　　　　験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　熟練工修了証書（Certificate）
宿 泊 施 設　あ り
そ　の　他　米国ＡＩＤによる援助

4、55

機　関　名　技術訓練センター　Nangal Punjab
所 属 機 関　インド政府中央水利・水力委員会

イ　ン　ド

研修コース　研修期間1年
土木建設用運搬機械の操作、保守、整備
（基本的機械学及び土壌運搬に応用する建設機械の研究）

研修開始時期　12月15日
資　　格
年　　令　20〜30才
学　　歴　大学入学資格取得者および高校卒業者
言　　語　英語
その他必要な資格　少なくとも1年間の当該科目又は自動車機械の実技経験者および運転免許取得者。

試　　験
使用言語　英語
取得できる修了証　熟練工修了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
そ　の　他　米国AIDによる援助

4、56

機関名　トラクター研修センター　Hissar Haryana
所属機関　トラクター研修センター所長
研修コース　トラクター研修　訓練期間
(1) 普通課程　5カ月
(2) 特別課程　1カ月
(3) 再研修課程　3週間

研修開始時期　(1) 2月2日および7月1日　(2) 6月1日
(3) 12月の第1週
資　　格
年　　令　18〜40才
学　　歴　大学入学資格取得者またはそれと同等の学力のあるもの
言　　語　ヒンディ語及び英語、ヒンディ語または英語
その他必要な資格　修士または学士（2または3年）または機械、自動車、農業工学の修了証書取得者は優先され、かつ健康者であること

試　　験　面接選考
使用言語　英語およびヒンディ語

インド

取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
その他

4、57

機関名　トラクター検査研修センター，P.O.Budni R.S. District-Sehore Madhya-Pradesh
所属機関　インド政府
研修コース　トラクター研修　訓練期間
（農機具利用研修）　5カ月

研修開始時期　1月2日および7月1日
資格
年令　18才～40才
学歴　大学入学資格取得者とくに農場作業において農機具使用の事前経験のあるものが望ましい。
言語　ヒンディおよび英語
その他必要な資格　農業および農業工学または機械工学の学位取得者も許可される。

試験　面接選考
使用言語　ヒンディ語および英語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
その他　米国ＡＩＤによつて援助あり

4、58　機関名　Vallabhbhai Patel 胸部器管研究所 Delhi（デリー）大学、Delhi-7
所属機関　Vallabhbhai Patel 胸部器管研究所長
研修コース　医学実験（研究）技術　研修期間1年

研修開始時期　7月16日
資格
年令　無制限
学歴　高校卒または自然科学において高校卒と同等の学力を有するもの。
言語　英語

その他必要な資格

試　　　験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　修了証書 (Certificate)
宿 泊 施 設　な し
そ の 他

4、59

機 関 名　Victoria Jubilee技術研究所、
Matunga Bombay-19 DD
所 属 機 関　Victoria Jubilee 技術研究所理事会
研 修 コ ー ス　研修期間4年
(1) 機械工学 (L、M、E)
(2) 電気工学 (L、E、E)
(3) 繊維生産 (L、T、M)
(4) 土木および衛生工事 (L、CおよびS、E)
(5) 技術および応用化学 (L、T、C)

研修開始時期　6月20日
資　　　格
年　　　令　21才以下
学　　　歴　中等学校修了者またはそれと同等の学力を有するもの。
言　　　語　英 語
その他必要な資格

試　　　験　成績による選考
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　修了証書 (Diploma)
宿 泊 施 設　あ り
そ の 他

4、60

機 関 名　Bhilai 製鋼所
所 属 機 関　公共機関 (ヒンドスタン (Hindustan) 製鉄会社)
業 務 内 容　鉄鋼生産 (銑鉄、鉄道建設用鉄鋼線、鉄道用車軸、商事部、
タール、アンモニューム硫酸塩等)

イ ン ド

従業員数 専門技師及び技師 1,639名
技能者 3,605名 熟練工等 16,409名
研修コース 鉄鋼
(1) 見習工修了者及び初級技師（技術、冶金学の修了者）の研究 1年6カ月
(2) 上級及び一般職工の研修 〃
(3) 見習工法にもとづく職工の研修 1年6カ月〜3年
(4) 休職研修生の研修 6週間

研修開始時期 (3)1月および6月 (4)5月〜6月
資格
年令 119〜23才
学歴 機械または電気技術または冶金学の修了証書(Diploma)を有するもの、自然科学の学士取得者
言語 英語
その他必要な資格 健康

実務試験
試験 面接
使用言語 英語
取得できる修了証 修了証書（Certificate）
宿泊施設 あり
その他 このプラント（工場）はソ連によつて建設された。

4、61 機関名 Durgapur 鉄鋼所 Durgapur-3
所属機関 政府機関
業務内容 鋼の軽部門、汽車の車輪、車軸、枕木
従業員数 省門技師及び技師 1,000名
技能者 2,500名 熟練工等 3,000名
研修コース 鉄鋼 研修期間18カ月
（運転及び整備業務のための上級職工研修制度）

研修開始時期 不定期
資格
年令 22才まで
学歴 自然科学課程の学卒者または電気、機械技術の修了証書(Diploma)取得者

イ ン ド

言　　　　　語　英 語
その他必要な資格　健 康

実 務 経 験
試　　　　験　筆記試験および面接試験
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証
宿 泊 施 設　あ り
そ　の　他　米国ＡＩＤの援助および英国の１３の鉄鋼および技術会社の共同借款により建設

4、62

機　関　名　インドエッソ・スタンダード製油会社、Administration Building,Mahal Road,Bombay-74 AS.
所 属 機 関　エッソ・スタンダード製油会社専務取締役
業 務 内 容　石油製品の生産、モーター用石油、ケロシン、精製ヂーゼル用重油、工業ヂーゼル用重油、工業用燃料油、アスファルト、ソルベント２４４５、ＬＰガス、ＨＦＲ３２０、ソルベント３０〜４０。
従 業 員 数　専門技師及び技師　85
技 能 者　106
熟練工等　115
研 修 コ ー ス　石油産業　研修期間３カ月〜１年
（機械工、製造過程操作、実験室技術）
実 習　50%
現場研修　25%
専門教育　25%

研修開始時期　６月および７月
資　　　格
年　　　令　１８〜２５才
学　　　歴　高校修了証書（Certificate）取得者
言　　　語　英 語　読み、書き、話す能力。
その他必要な資格

実 務 訓 練
試　　　験　Ｉ.Ｑテスト、職務適正テスト、

イ　ン　ド

使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　なし
その他

4、63

機関名　Travancore肥料・化学会社 Vdyogamandal P.O. Alwage Kerala
所属機関　政府機関
業務内容　肥料および重化学製品の製造
従業員数　専門技師および技師　151
技能者　430
熟練工等　555
研修コース　訓練期間18カ月
見習研修
(1) 化学操作修了証書（Diploma）取得課程
(2) 化学技師修了証書（Diploma）取得課程
(3) 管理監督者研修

研修開始時期
資格
年令
学歴
言語　英語
その他必要な資格

実務経験
試験　筆記テストおよび面接
使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　あり
その他　自然科学および技術課程学卒者および1961年の見習工法にもとづく職務別の見習工に対する見習研修の供与および執行部門の経営研修

4、64

機関名　インド肥料公社　Sindri Bihar

イ ン ド

所属機関	公共機関　インド政府事業
業務内容	肥料製造
従業員数	専門技師および技師
	技能者
	熟練工
研修コース	研修期間
	(1) 管理監督者の見習研修　2年
	(2) 見習工の職務別研修　3年
	(工業研修も含む)
研修開始時期	
資格	
年令	最高22才
学歴	(1) 技術の修了証書（Diploma）取得者 または自然科学系の学士位取得者
言語	
その他必要な資格	
実務経験	
試験	
使用言語	英語
取得できる修了証	
宿泊施設	総計550室を有する5カ所のホステルあり
その他	学卒見習工の研修も実施する。

4、65

機関名	重電機（インド)会社-Bhopal
所属機関	重電機（インド）会社——公共機関
業務内容	水力タービンおよび発電機、蒸気タービン、ターボ式交流発電機、変圧機、工業用モーター、電車用モーター、スイッチギアー、コントロール板、コンデンサー等の重電気機器製造の政府工場。
従業員数	専門技師および技師　887
	技能者　6,952
	熟練工等

イ　ン　ド

研修コース　技能者見習研修　　研修期間
（当工場の技術、生産、商事部職員の研修、研修コースは6カ月間の基礎的技術の研修の後、当工場の各作業場において、業務を通じた現場研修をおこなう。）

研修開始時期　不定期
資　　　　格
年　　　　令　18～22才（特別な場合は別途考慮する。）
学　　　　歴　電気および機械工学技術に関する3年修了証書（Diploma）取得者
言　　　　語
その他必要な資格

実務経験
試　　　　験　筆記試験および面接
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
そ　の　他　学卒者および職務別見習研修も実施する。

4、66

機　関　名　インド航空　Airlines House 113、Gurdwara Rakabganj Road, New Delhi
所属機関　公社
業務内容　航空事業（航空機、航空エンヂン及び各機器—ラジオ、機器、電気系統　等を含む航空機械器の修理および分解検査）
従業員数　専門技師および技師
技能者
熟練工等
研修コース　航空工学、無線通信およびレーダー　　研修期間
(1)　職員研修（技術工学および機械工学）　9～13週
(2)　見習研修（職務別）　3年

研修開始時期　(1)　1月
(2)　1月、2月および7月、8月

インド

資格
年令 (1) 無制限
(2) 見習工法(Apprentices Act)による。
学歴 自然科学の大学入学資格取得者
言語 英語
その他必要な資格
実務経験
試験 (2) 選抜試験および面接
使用言語 英語
取得できる修了証 (1) 修了証書(Certificate)
(2) インド政府の発行した国家年季奉行修了証書
(National Apprenticeship Certificate)
宿泊施設 なし
その他 (i) 技術大学および工業研修所の学生に工場内研修施設を提供する。
(ii) 研修施設は、ボンベイ、カルカッタ、デリー、ハイデラバード等にもある。

4、67

機関名 インド鉄鋼会社(株)(Co.LTD.)
Burpur District, Burdwan, West Bengal
所属機関 Martin Burn 会社(Limited) 私企業
業務内容 製鉄所(銑鉄、ロール鋼製品、コークス)
従業員数 専門技師および技師 250
技能者 600
熟練工等 7,049
研修コース 一般管理者研修 研修期間
(この種の研修は一般管理者、職工長、職工副長、監督者等に対する会社の需要に応えるものである。その中のあるものは実験室(研究室)および設計事務所の一般職員として役立つものである。)

研修開始時期 8月～9月
資格
年令 20～23才
学歴 自然科学の大学卒業者および技術の修了証書(Diploma)取得者

イ ン ド

言語 英語
その他必要な資格 製鉄所における労働条件にたえ得るもの。

実務経験
試験
使用言語 英語
取得できる修了証 修了証書 (Certificate)
宿泊施設 あり
その他

4、68 機関名 インド電話工業会社 (Limited)
Dooravaninagar Bangalore-16
所属機関 インド政府、郵便・電話部の管理下にある公共機関
業務内容 電気通信機材の製造
従業員数 専門技師および技師 152
技能者 486
熟練工等 491
研修コース 電気通信 研修期間
(1). 見習工 B級 2年
(2) 見習工 C級 3年

研修開始時期
資格
年令
学歴 (1) 機械、電気、電気通信、土木工学の修了証書 (Diploma) 取得者
(2) I.I.Iにおいて最低6カ月の研修をつんだS.S.L.C
言語 英語
その他必要な資格

実務経験
試験 筆記試験および面接
使用言語 英語
取得できる修了証 実地研修修了証書 (Certificate)
宿泊設設 あり

その他 (i) 2～3名の海外研修員も同時に研修できる。
(ii) 学卒技術者および学習者に対する研修もおこなう。さらに、統計学的品質管理、生産管理、工業技術工業保安に関する実地研修もおこなう。

4、69

機関名	国立機器会社 Jadavpur Calcutta-32
所属機関	インド政府産業省
業務内容	科学、測量、光学、工業関係の機器製造
従業員数	専門技師および技師 36
	技能者 96
	熟練工等 904
研修コース	工具技術 研修期間
	(1)見習研修(カルカッタ技術学校学生を対象とする) 5年
	(2)一般有給職員 11カ月
研修開始時期	
資格	
年令	(1)18才 (2)24才
学歴	(1) 自然科学課程の学卒者または在学者
	(2) 機械または電気技術の修了証書(Diploma)取得者
言語	
その他必要な資格	
実務経験	
試験	
使用言語	英語
取得できる修了証	実地研修修了証書(Certificate)
宿泊施設	なし
その他	(i) 年間3名の海外研修員を受入れ得る。
	(ii) 米国および西独から援助あり。
	(iii) 工業科学卒者の見習研修を実施する。

4、70

機関名 原型生産・研修センター 116-A Lower Circular Square(2nd Floor) Culcutta-14

イ　ン　ド

所属機関	国立小工業会社 (Corporation Ltd.) (インド政府事業)
業務内容	機械製造および原型開発のための研修
従業員数	専門技師および技師　17 技能者　90 熟練工等　494 1191（技術者および非技術者）（他は非技術者）
研修コース	研修期間 (1) 職工課程　1年 (2) PTC見習課程 ⎫ 3年 (3) 監督者見習課程 ⎭
研修開始時期	(1)1月及び7月　(2)7月　(3)8月
資格	
年令	(1)17〜30才　(2)16〜22才　(3)30才迄
学歴	(1) 第8級平準試験の合格者で、1〜2年の実務経験者、またはIIIおよびIIC試験合格者 (2) 科学および製図の大学入学資格取得者またはそれと同等の学力を有するもの (3) 機械および電気工学の修了証書（Diploma）取得者
言語	
その他必要な資格	健康
実務経験	不要
試験	
使用言語	ヒンディ語および英語
取得できる修了証	(1)及び(2)は修了証書（Certificate)、(3)はなし
宿泊施設	あり
その他	(i) 日本政府の援助 (ii) 国立見習工課程もあり、その他、学卒者見習および短期専門課程を設置する。

4、71

機関名	原型生産・研修センター　Okhla Industrial Estate, New Delhi-20

イ　ン　ド

所属機関　国立小規模工業会社(Corporation Ltd.)
　　　　　インド政府機関
業務内容　機械製造および原型開発の研修
従業員数　専門技師および技師　17
　　　　　技能者　90
　　　　　熟練工等　494
　　　　　1191（技術者および非技術者）

研修コース　　研修期間
　(1) 見習課程　3年
　(2) 労務員課程　1年

研修開始時期　(1)7月第1週、(2)1月第1週
資格
年令　(1)15～20才　(2)19～30才
学歴　(1)(2)大学入学資格取得者およびそれと同等の学力を有する者。
言語
その他必要な資格

実務経験　(1) ———
　　　　　(2) 小規模工業において、1～3年の実務経験を有する者。
試験
使用言語　ヒンディ語および英語
取得できる修了証
宿泊施設　あり
その他　(1) ドイツ政府の援助あり
　　　　(2) 工業科学卒者研修生、管理監督者研修生、短期特別監督者研修生等の研修も実施する。

4、72

機関名　原型生産・研修センター　Rajkot
所属機関　国立小規模工業会社（Corporation Ltd.)
業務内容　機械製造および原型開発の研修
従業員数　専門技師および技師　17
　　　　　技能者　90
　　　　　熟練工等　494

イ　ン　ド

1191（技術者および非技術者）	（他は非技術者）	
研修コース		研修期間
	(1) ＩＴＩ及び小規模工業からの職人の研修コース	1年
	(2) 正式見習研修コース	3年
研修開始時期	(1)隔年１月および７月　(2)７月	
資格		
年令	(1)１７～３０才　(2)１７～２５才	
学歴	(1) 英語の大学入学資格不要、ただし、大学入学資格者は優先させる。 (2) 英語の大学入学資格取得者およびそれと同等の学力を有する者。さらに、技術科目の取得者がのぞましい。	
言語		
その他必要な資格		
実務経験者	(1) 熟練工として１年の実務経験者 (2) 必ずしも必要でない。	
試験		
使用言語	ヒンディおよび英語	
取得できる修了証	修了証書（Certificate）	
宿泊施設	あり	
その他	米国ＡＩＤの援助あり。	

4、73

機関名	Rourkela鉄鋼所　Rourkela	
所属機関	ヒンドスタン（Hindstan）鉄鋼会社（インド政府機関）	
業務内容	鋼板製品、パイプ、肥料	
従業員数	専門技師および技師	1,331
	技能者	3,332
	熟練工等	16,496
研修コース	鉄鋼　研修期間１年６ヵ月	
	(1) オリエンテーション及び研究所研修	
	(2) 工場見学	
	(3) 専門的現場研修	

イ ン ド

研修開始時期	
資格	
年令	18～23才
学歴	物理、化学、数学の学士位取得者、または機械、電気、冶金、化学技術の3年修了証書(Diploma)取得者。
言語	英語の基礎知識
その他必要な資格	健康
実務経験	
試験	試験および面接
使用言語	英語
取得できる修了証	
宿泊施設	あり
その他	(1) ドイツの会社により設立 (2) 西ドイツ、米国AID、コロンボ計画、UNOおよびインド・フランス技術協力計画

4、74

機関名	The Tata 製鉄会社(Company Limited) Jamshedpur Bihar
所属機関	私企業
業務内容	銑鉄、鋼塊生産
従業員数	専門技師および技師 技能者 熟練工等
研修コース	鉄鋼業　研修期間 (1) 一般管理・監督者研修　2年6カ月 (2) 技術検定課程　3年
研修開始時期	
資格	
年令	(1)19～24才 (2)19～23才
学歴	(1) 機械、電気技術の修了証書（Diploma） (2) 数学、物理、化学のうち2つの学士位取得者
言語	英語の知識を有するもの
その他必要な資格	

イ ン ド

試　　　験　試験及び面接
使 用 言 語　英 語
取得できる修了証　な し
宿 泊 施 設　現在はなし。ただし、技術検定者に短期に用意する。
そ の 他　(i) 専門技師および技師になるための学卒見習研修
(ii) 職務別見習計画
(iii) 石工研修計画

インドネシア

5、1
機　関　名　民間航空学院　Tjurug Djakarta
所 属 機 関　インドネシア政府
研修コース　　　　研修期間

民間航空全分野	1年6カ月～3年
パイロット研修	〃
航空機エンジン機構	〃
無線操作と無線工学	〃

研修開始時期
資　　格
年　　令
学　　歴　高校修了証書（Certificate）
言　　語
その他必要な資格

試　　　験
使 用 言 語　インドネシア語
取得できる修了証　政府発行修了証書
宿 泊 施 設　あ り
そ の 他　コロンボ計画、国際民間航空機構、米国ＡＩＤの援助

5、2
機　関　名　皮 革 学 院
所 属 機 関　インドネシア政府人民工業部
研修コース　皮革技術　研修期間
3年6カ月

研修開始時期　10月
資　　　　格
年　　　　令
学　　　　歴　高校または高等技術学校
言　　　　語
その他必要な資格

試　　　　験
使用言語　インドネシア語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　なし
そ　の　他

5、3

機　関　名　物理療法助手学校　Surakarta
所属機関　インドネシア政府保健省
研修コース　物理療法　研修期間3年

研修開始時期　9月1日
資　　　　格
年　　　　令　15〜20才
学　　　　歴　中学校および高校
言　　　　語　インドネシア語
その他必要な資格　健康および品行方正

試　　　　験　筆記試験
使用言語　インドネシア語
取得できる修了証　国発行の修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
そ　の　他

5、4

機　関　名　繊維学院　Bandung
所属機関　インドネシア政府民間産業省
研修コース　繊維技術　研修期間3年6カ月

研修開始時期　9月1日
資　　　　格

インドネシア

年　　　　令
学　　　　歴　高校または高等技術学校
言　　　　語
その他必要な資格

試　　　　験
使　用　言　語　インドネシア語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿　泊　施　設　なし
そ　の　他

イ　ラ　ン

6、1　機　関　名　Honarestan Narmak,Narmak Teheran
所　属　機　関　政府所属研究所理事会
研　修　コ　ー　ス　研修期間4年
(1) 鋳造実習
(2) 工作機械
(3) ビル建築
(4) 電子工学
(5) 自動機械

研修開始時期　Mehr 第1週
資　　　　格
年　　　　令　15〜18才
学　　　　歴　8年
言　　　　語
その他必要な資格　健康

試　　　　験　入学試験
使　用　言　語　ペルシヤ語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿　泊　施　設　なし
そ　の　他　米国AIDの援助

6、2

機関名	Honarestan Sanati,Sheshome Bahman
所属機関	
研修コース	研修期間3年 (1) 電 気 (2) 木 工 (3) 自動機械 (4) ビル建築 (5) 工作機械
研修開始時期	Mehr 1月 (9月23日)
資格	
年令	最高23才
学歴	9年
言語	
その他必要な資格	
試験	入学試験
使用言語	英 語
取得できる修了証	職業修了証書 (Diploma)
宿泊施設	な し
その他	

6、3

機関名	Nemazee 職業訓練学校、Shiraz
所属機関	教育省、技術教育協会の許可を得た Ali-Naghi Khodabandeh
研修コース	研修期間3年 (1) 自動機械 (2) 電 気 (3) 石 工 (4) 鉛管工業 (5) 木 工 (6) 熟練機械工
研修開始時期	9月
資格	
年令	17〜22才

学　　　　歴　中等学校第３学年を経て、中等学校の第１期の一般教育を受けたもの。
言　　　　語　中等学校第３学年として教育省によつて定められた範囲の学力を有するもの。
その他必要な資格　職業学校へ入学する適性のあるもの。

試　　　　験　入学試験
使 用 言 語　ペルシヤ語
取得できる修了証　技術の修了証書（Diploma）
宿 泊 施 設　な し
そ　の　他　フォードおよびイラン財団の援助あり。

6、4

機　関　名　O．R．T職業訓練学校　Shahnaz Square 138 Demavand Ave,Teheran
所 属 機 関
研 修 コ ー ス

		研修期間
(1) 機　械	職業学校	3年
(2) 自動機械	職業学校	〃
(3) 電気設備	職業学校	〃
(4) 冷　房	美術学校	〃
(5) 通信用電子工学	美術学校	〃
(6) 工作機械	美術学校	〃
(7) インダストリアル・デザインの製図	（技学大学）	2年

研修開始時期　9月5日～10日
資　　　　格
年　　　　令　(1)－(3)13～17才　(4)～(6)21才まで　(7)27才まで
学　　　　歴　(1)－(3)6学年修了　(4)～(6)9学年修了　(7)12学年修了
言　　　　語　フランス語
その他必要な資格　健 康

試　　　　験　入学試験
使 用 言 語　フランスおよびペルシヤ語
取得できる修了証　職業研修の修了証書（Diploma）
宿 泊 施 設　あ り

イ　ラ　ン

その他　アメリカ・ORT連盟ジュネーヴORT組合米国AIDおよびCARE使節等の援助あり。

6、5

機関名　テヘラン技術学校　Ghavam Sultaneh Street, Teheran.
所属機関　教育省
研修コース　研修期間2年
(1) 機械
(2) 電気
(3) ビル建築
(4) 繊維技術

研修開始時期　9月21日
資格
年令
学歴　中等技術教育の修了証書取得者（Diploma）
言語　ドイツ語または英語
その他必要な資格

試験　入学試験
使用言語　ペルシヤ語
取得できる修了証　技術の修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他

韓　国

7、1

機関名　Kunsan（元山or釜山）漁業短期大学、Kunsan, Jeonla Buk.Do
所属機関　Jeonla Buk Do政府、教育委員会
研修コース　研修期間2年
漁業
（研修科目：航海、操船術、機械工学、海洋工学、熱力学、内燃機関、海洋生物学、淡水魚繁殖、海水魚繁殖、分析化学、魚化学、冷凍およびかん詰）

韓　国

研修開始時期	3月第1週
資格	
年令	20才
学歴	高校卒業証書
言語	英語
その他必要な資格	
試験	
使用言語	韓国語
取得できる修了証	漁業短期大学修了証書 (Diploma)
宿泊施設	なし
その他	米国AIDによる援助あり

7、2

機関名	国立航空大学、Koyang-Kun,Kyungki-do
所属機関	大韓民国政府
研修コース	研修期間1年 (1) 航空管制 (2) 民間航空パイロット (3) 航空機整備技術者 (4) 無線通信技術者 (5) 無線通信士
研修開始時期	3月1日
資格	
年令	20才以上
学歴	12年以上の学歴を有するもの。
言語	英語の十分な知識が必要
その他必要な資格	
試験	政府機関に推選されたものは免除
使用言語	英語
取得できる修了証	修了証書 (Certificate)
宿泊施設	なし
その他	(I) 米国AIDおよびコロンボ計画の援助あり。 (II) 大学水準の通常な航空教育も実施する。

韓　国

7、3

機関名　Yosu漁業専門短期大学 827 KuK-Pong, Yosu Chun-Nam,

所属機関　大韓民国政府教育省

研修コース　研修期間5年

漁業

(1) 漁業課程

(2) 製造 〃

(3) 養殖 〃

(4) 機関 〃

研修開始時期　3月1日

資格

年令　17才以下

学歴　中等学校3年の教育を受けたもの

言語　英語の試験

その他必要な資格

試験　筆記試験

使用言語　英語およびフランス語

取得できる修了証　修了証書（Certificate)

宿泊施設　なし

その他　USOMおよびコロンボ計画の援助あり

7、4

機関名　Cheil毛織工業会社（Company Limted），
I.P.O Box 1144, Seoul, Mill:105
Chimsan-dong Taegu

所属機関　私会社

業務内容　手織物、ウーステッド織物、手糸の製造

従業員数	専門技師および技師	47
	技能者	43
	熟練工等	1,891
	（従業員数総計）	2,154

韓　　国

研修コース	研修期間　普通1カ月 繊維技術 (1) 品質管理（技師、技能者および職工） (2) 経営セミナー (3) 職長研修 (4) 職工研修 (5) 一　般 いずれも適時に現場研修をおこなう。
研修開始時期	(1)1月 (2)2月 (3)12月 (4)1月 (5)2月
資格	
年令	無制限
学歴	(1) 技師　大学教育を受けたもの (2) 技能者　高校教育を受けたもの (3) 職工　初等教育を受けたもの
言語	英語および日本語の知識が役立つ
その他必要な資格	
実務経験	
試験	推選による。
使用言語	韓国語、時により英語
取得できる修了証	修了証書（Diploma）
宿泊施設	なし
その他	

7、5

機関名	韓国電気会社韓国－フランス研修センター、5,2-Ka, Namdaemoon-Ro Chung-Ku, Seoul
所属機関	大韓民国政府
業務内容	発電および送電
従業員数	専門技師および技師　695 技能者　572 熟練工等　3,085 （従業員数総計　11,443）

韓　　国

研修コース　研修期間２週間
電気工学
(1) 基礎学科
(2) 特別研修
(3) 現場研修
(4) 海外研修
(5) 委託研修
(6) 特別専門研修

研修開始時期
資　　格
年　　令　２０才
学　　歴
言　　語
その他必要な資格

試　　験
使用言語
取得できる修了証
宿泊施設　あり
その他　フランスの援助

マレーシア

8、1　機関名　マラヤ農業大学　P.O.Box 203, Sungei Besi Selangor
所属機関　評議会—農業大学
研修コース　研修期間
(1) 農業　3年
(2) ゴムおよび油ヤシ栽培　6カ月

研修開始時期　5月
資　　格
年　　令　１７才以上

マレーシア

学　　　歴	(1) ケンブリッヂ学校修了証書（Certificate）取得者、マレーシアの教育修了証（Certificate）取得者またはそれと同等の学力を有するもの。 (2) 2学年の修了証書（Certificate）取得者またはそれと同等の学力を有するもの。
言　　　語	英語の合格証明を有するもの
その他必要な資格	
試　　　験	入学許可委員会の決定による
使用言語	英語
取得できる修了証	(1) 農業の修了証書（Diploma） (2) 修了証書（Certificate）
宿泊施設	あり
そ の 他	

8、2

機　関　名	General Hospital レントゲン写真技術専門学校 Kuala Lumpur
所属機関	マレーシア政府保健省
研修コース	研修期間
	放射線写真法（診断学）　2年
研修開始時期	2月
資　　　格	
年　　　令	18～23才
学　　　歴	学校修了証書（Certificate）取得者またはそれと同等の学力を有する者で英語及び数学の合格証明を有する者。
言　　　語	英語
その他必要な資格	なし
試　　　験	
使用言語	英語
取得できる修了証	英国レントゲン写真技師協会の修了証書(Diploma)
宿泊施設	なし
そ の 他	本校は1963年5月より、M.S.R または英国へ赴くレントゲン写真技師の研修として認められたものである。試験は英国レントゲン写真技師協会によつて行なわれる。

8、3

機関名 技術大学 Kuala Lumpur
所属機関 教育省 マレーシア
研修コース 研修期間3年
(1) 農業
(2) 土木工学
(3) 電気工学
(4) 機械工学
(5) 土地測量
(6) 積算
(7) 都市計画

研修開始時期 8月
資格
年令 17才以上
学歴 第2部のマレーシヤ学校の修了証書（Certificate）取得者で、英語またはマレイシア語、初級の数学および科学の合格証明書をもつもの。
言語 英語
その他必要な資格

試験
使用言語 英語
取得できる修了証 技術大学の修了証書（Diploma）
宿泊施設 あり
その他 (i)英国の職業研究所の試験のための十分な研修も行なう。
(ii)UNESCO、コロンボプラン、平和部隊、西独の援助あり。

8、4

機関名 電気通信研修センター、Gurney Road, Kuala Lampur
所属機関 マレーシア政府、電気通信部
研修コース 電気通信 研修期間
(1) 見習技能者研修制度。研修者は次の1つを専門にする：路線設備、電話設置、交換器、送信機、無線電信および電報 9カ月（センター） 15カ月（現場）
(2) 路線設備、電話設置、交換器、送信機、無線電信およ

マレーシア

研修コース　び電報等に関する職員の上級コース

研修開始時期　不定
資　　　　格
年　　　　令
学　　　　歴　中等学校第4学年修了者、または修了証書（Certificate）取得者。
言　　　　語　英語
その他必要な資格

試　　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　あり
そ　の　他　(i) 国連特別基金が新センターの設置を援助しており、1970年末までに完成の予定である。
(ii) コロンボ計画によつて、オーストラリアおよび英国の援助もある。

パキスタン

9、1　機関名　Bogra政府技術学校、Bogra 東パキスタン
所属機関　東パキスタン政府専門教育長官
研修コース　研修期間3年
土木工学
自動車工学
ヂーゼルエンヂン工学
電機工学
精糖技術

研修開始時期
資　　　　格
年　　　　令　無制限
学　　　　歴　大学受験者（数学45点、英語40点以上）
言　　　　語　英語大学受験者水準

パキスタン

9、1　　その他必要な資格　科学についての大学入学資格取得者は優先させる。

試　　　験　口頭試問
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他　コロンボ計画およびアジア財団の援助あり。

9、2

機関名　Chittagong工芸学校、Chittagong，東パキスタン
所属機関　東パキスタン政府教育省
研修コース　研修期間3年
土木工学
機械工学
電気工学
自動車およびヂーゼルエンヂン工学
製図技術および設計工学
（理論：2/3、実技：1/3）

研修開始時期　9月初旬
資格
年令　無制限
学歴　中等学校修了証書（Certificate）取得者または大学入学資格取得者。
言語　英語　大学入学者同等の水準
その他必要な資格

試験　なし
使用言語　英語
取得できる修了証　東パキスタン技術教育試験委員会の修了証書(Diploma)
宿泊施設　それぞれ160人分をもつ2つの宿舎あり。
その他　(i)　海外からの研修者5人を受入れる。
(ii)　国連特別基金の援助あり

9、3

機関名　Dacca工芸学校、Tejgaon工業地区、Dacca-8
東パキスタン

パキスタン

所属機関	東パキスタン政府
研修コース	研修期間3年
	(1) 土木工学
	(2) 電気（電力）工学
	(3) 無線通信工学
	(4) 機械工学（生産）
	(5) 動力工学（自動車用ヂーゼルエンヂン及び空気調節）
研修開始時期	7月
資格	
年令	無制限
学歴	大学入学資格取得者またはそれと同等の学力を有する者
言語	英語
その他必要な資格	第1部または第2部の物理、化学、数学に関し、第1部またはI．Scの大学入学資格試験合格者
試験	口頭試問
使用言語	英語
取得できる修了証	技術教育試験委員会の東パキスタン技術協会の修了証書（Diplóma）
宿泊施設	研修員750名分の宿舎あり。
その他	(i) 海外からの10名の研修員を受入れる。
	(ii) フォード財団の援助あり。

9、4

機関名	政府工芸学校、Hyderabad
所属機関	西パキスタン政府
研修コース	研修期間3年
	自動車およびヂーゼルエンジン工学
	土木工学
	機械工学
	電気工学
	（理論50%、実習50%）
研修開始時期	9月第1週
資格	
年令	最低15才

パキスタン

学歴　大学入学資格取得者
言語
その他必要な資格

試験　点数順により許可
使用言語　英語
取得できる修了証　技術の修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他　(i) 各コースに4名の海外の研修員を受入れる。
(ii) 国連特別基金、コロンボ計画の援助あり。

9、5

機関名　政府工芸学校　Railway Road, Lahore
所属機関　西パキスタン政府教育局
研修コース　研修期間3年
(1) 機械工学
(2) 電気工学
(3) 無線工学
(4) 自動車工学
(5) 製図技術および設計
(6) 冷凍および空気調節

研修開始時期　9月第1週
資格
年令　無制限
学歴　大学入学資格取得者又はそれと同等の学力を有するもの。
言語　英語
その他必要な資格　技術の大学入学資格取得者は優先される。

試験　前の一般試験の成績の点数順位によつて許可する。
使用言語　英語
取得できる修了証　技術の修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他

9、6　　機関名　政府工芸学校　Rawalpindi
所属機関　西パキスタン政府教育局
研修コース　研修期間3年
(1) 自動車およびディーゼルエンジン工学
(2) 電気工学
(3) 冷凍および空気調節
(4) 無線工学および電子工学
(5) 機械工学
（次の専門分野をもつ。(a) 製図および設計　(b) 鋳造および成型　(c) 機械　(d) 冶金および溶接）

研修開始時期
資格
年令　無制限
学歴　大学入学資格取得者
言語
その他必要な資格　技術高校の生徒は優先される。

試験
使用言語　英語
取得できる修了証　技術の修了証書（Diploma）
宿泊施設　全校生徒の25%分はあり
その他　(i) (2)および(4)、(5)のコースは海外研修生も受入れる。
(ii) フォード財団の援助あり。

9、7

機関名　政府工芸学校　Sialkot
所属機関　西パキスタン政府教育局
研修コース　研修期間3年
土木工学
電気工学
機械工学
自動車およびディーゼルエンジン工学

研修開始時期　9月第2週
資格
年令　最低15才

学　　　　歴　大学入学資格（第２部）取得者またはそれと同等の学力のあるもの。
言　　　　語　英語の知識
その他必要な資格　技術または科学を専攻した志願者は優先される。

試　　　　験　成績順位により入学許可。
使　用　言　語　英　語
取得できる修了証　技術の修了証書（Diploma）
宿　泊　施　設　制限はあるが施設あり。
そ　の　他　(i)　各コースに５名の海外研修員を受入れる。
(ii)　ＵＮＥＳＣＯの援助あり。

9、8

機　関　名　経営研究所、WPIDC，PIDC House, Kutchery Road, Karachi-4
所　属　機　関　ＷＰＩＤＣを通じて西パキスタン政府
研　修　コ　ー　ス　管理監督者研修　　研修期間
(1)　工業内訓練に関する指導者研修　３カ月
(2)　基礎研修　５時間

研修開始時期　年間コース開設
資　　　　格
年　　　　令　無制限
学　　　　歴　充実した基礎教育を有するものであれば学位不問
言　　　　語　(1)　英語および母国語
その他必要な資格　必ず管理監督者であること。

試　　　　験
使　用　言　語　英語およびウルドゥ語
取得できる修了証　出席者に修了証書
宿　泊　施　設　な　し
そ　の　他　(i)　国連特別基金及びフォード財団の援助あり
(ii)　工業技術、財務管理、販売および市場、経営一般等のコースも設置。

パキスタン

9、9　機関名　舶用ディーゼル機関研修センター、Sonakanda, Narayanganj

所属機関　東パキスタン政府

研修コース

	研修期間
(1) ディーゼル機関士	4カ月
(2) ディーゼル技術者	1　年
(3) 管理監督者および教授	1　年
(4) 補習科	1カ月

研修開始時期　(1) 3月の第1週、7月および11月

(2)および(3)　7月の第1週

資格

年令　20～35才

学歴　8級

言語　英語およびベンガル語

その他必要な資格　(i) 1級ディーゼル機関運転免許（Certificate）所有者。

(ii) 機械または動力工学についての公認技術学校の修了証書（Diploma）取得者。

試験　あり

使用言語　英語およびベンガル語

取得できる修了証　修了証書（Certificate）

宿泊施設　あり

その他　(i) 特別語学研修あり

(ii) ILOおよび国連特別基金の援助あり。

9、10

機関名　（国立）工芸大学、The Mall, Lahore

所属機関　西パキスタン政府

研修コース

	研修期間
(1) 農業課程	5年
(2) 農業補助者課程	3年

研修開始時期　7月の第1週

資格

年令　16才

学　　歴	中等学校試験（第2級）の合格者またはそれと同等の学力を有するもの。
言　　語	英語
その他必要な資格	数学および科学の上記合格者は優先される。
試　　験	英語および製図
使用言語	英語およびウルドゥ語
取得できる修了証	国家発行の修了証書（Diploma）
宿泊施設	男子学生用あり
その他	(i) 各コース5名の海外研修生を受入れる。 (ii) フルブライトおよびアジア財団の援助あり。 (iii) 工業デザインのコースあり。

9、11

機関名	Pabna技術学校，Pabna 東パキスタン
所属機関	東パキスタン政府専門教育局局長
研修コース	研修期間 (1) 土木工学　3年 (2) 動力技術　3年 (3) 測　量　1年
研修開始時期	7月
資　　格	
年　　令	無制限
学　　歴	大学入学資格取得者及びそれと同等の学力を有する者
言　　語	英語
その他必要な資格	
試　　験	あり
使用言語	英語
取得できる修了証	(1)および(2)は東パキスタン政府技術教育試験委員会の修了証書（Diploma） (3)調査教育諮問委員会の修了証書（Certificate）
宿泊施設	各60名および50名収容可能な2カ所の宿舎あり。
その他	電動機、大工、鍛冶屋、電動機操作、石工、建具、溶接、成型、鉛工業、鋳造、旋盤および金属細工。

9、12

機関名	(国立)パキスタン国民科学・技術情報センター 2/143-R, PECHS, Karachi-29
所属機関	パキスタン科学・技術調査研究諮議会(Pakistan Council of Scientific and Industrial Research)
研修コース	研修期間1年3カ月 (1) 情報処理技術 (2) マイクロフイルム (3) 写真複写 (4) 印刷 (業務上研修で3～6カ月が実習、9カ月が学術研究(主として理論研究)
研修開始時期	不定
資格	
年令	無制限
学歴	写真技術の知識および図書館業務の研修を含む科学的な背景をもつもの。
言語	英語
その他必要な資格	
試験	
使用言語	英語
取得できる修了証	研修課目についての修了証書(Certificate)
宿泊施設	
その他	

9、13

機関名	パキスタン・地方鉄道研修センター、Walton, Lahore
所属機関	パキスタン政府
研修コース	研修期間3～4カ月 主信号と運転について研修する鉄道信号及び運転コース
研修開始時期	
資格	
年令	
学歴	
言語	

その他必要な資格　東南アジアおよび極東各国の鉄道職員

試　　　　験

使用言語　英語

取得できる修了証　なし

宿泊施設　あり

そ　の　他　UNTABおよびECAFEの援助あり。

9、14

機　関　名　スエーデン・パキスタン技術学校、Landhi, Karachi

所属機関　工業および天然資源省（産業局）

研修コース

	研修期間
(1)電気工学	2年—修了証書(Certificate)
(2)機械工学	3年—　〃　(Diploma)
(3)木工（家具製作）	4年—教師
(4)木工（指物細工）	研修
(5)電気及びガス溶接	

研修開始時期　7月および8月

資　　　　格

年　　　　令　18〜20才

学　　　　歴　大学入学資格取得者（第1および第2級）

言　　　　語　英語

その他必要な資格　大学入学者は優先される。
他の研究において技術研修したもの。

試　　　　験　適正検査

使用言語　英語

取得できる修了証　修了証書（Certificate及びDiploma）

宿泊施設　あり

そ　の　他　(i)　英語の特別研修
(ii)　スエーデン政府の援助あり。

9、15

機　関　名　電気通信職員大学（Telecommunication Staff College), Haripur, Hazara,

パキスタン

所属機関　パキスタン政府電報・電話局

研修コース　研修期間1年

電気通信

((1)無線 (VHF)、(2)搬送 (VET)、(3)電報

(4)国内電話、(5)海外電話及び (6)海外電報

研修開始時期　不定期

資格

年令　18～25才

学歴　科学の中間試験合格者またはF.Sc.

言語　英語

その他必要な資格

試験　競争試験および面接

使用言語　英語

取得できる修了証

宿泊施設　あり

その他　(i) 各コースに10～15名の海外研修生を受入れる。

(ii) コロンボ計画の援助あり。

(iii) 学位コースあり。

9、16

機関名　パキスタン国際航空会社、PIA Building,

空港、Karachi

所属機関　公共企業

業務内容　航空輸送

従業員数　専門技師および技術者　200

技能者　700

熟工／職人／熟練工

(従業員総数　7,500)

研修コース　研修期間

4～9週間

民間航空

研修開始時期

資格

年令

パキスタン

学歴　大学入学資格取得者
言語　英語
その他必要な資格

実務経験　優先入学制度あり
試験　テスト
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　なし
その他　(i)　コース当り、４名の海外研修生を受入れる。
(ii)　英語の特別研修あり。
(iii)　米国ＡＩＤの援助あり。

フィリピン

10、1　機関名　中央ルソン（Luzón）州立大学、Munoz，Nueva Ecija
所属機関
研修コース　研修期間１２カ月
農業機械

研修開始時期　６月
資格
年令　無制限
学歴　農業高校卒業または普通高校卒業
言語　英語
その他必要な資格　最終学年の数学８０点、農業機械及び農作業８５点

試験
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
その他　米国ＡＩＤより機材援助。

フィリピン

10、2　機関名　Feati 大学, Manila
所属機関　文部省 私立学校局
研修コース　研修期間(1)〜(7)及び(15)は2年
(8)〜(14)は1年

(1)土木工学　(9)冷房
(2)電気工学　(10)自動車工学
(3)無線工学　(11)ディーゼル工学
(4)航空工学　(12)民間航空
(5)航空機保守　(13)ビル建築
(6)船舶工学　(14)テレビジョン
(7)繊維技術　(15)測量
(8)機械工場実習

研修開始時期　8月
資格
年令　17才以上
学歴　高等学校卒業
言語　英語
その他必要な資格　身心共に健全

試験　なし
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書 (Diploma)
宿泊施設　なし
その他　経営工学の学位課程および土木工学、化学工学、電気工学、機械工学、航空工学、経営工学、建築の専門課程もあり。

10、3　機関名　極東大学技術学校, Manila
所属機関　文部省、私立学校局
研修コース　研修期間2年
測量

研修開始時期
資格
年令　無制限
学歴　中等学校修了 (Diploma)
言語

その他必要な資格

試　　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿泊施設　なし
そ　の　他　ラジオ放送の職業訓練コース及び土木工学、機械工学、電気工学、化学工学、建築、化学の専門課程もあり。

10、4

機関名　マラリア撲滅研修センター、Manila
所属機関　保健省
研修コース　マラリア撲滅　　期間4カ月

研修開始時期
資　　　　格
年　　　　令　無制限
学　　　　歴
言　　　　語　英語
その他必要な資格

試　　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　なし
そ　の　他　WHO及び米国AIDの援助あり。

10、5

機関名　Namei 工芸学校、Manila
所属機関　文部省、私立学校局
研修コース　期間2年

(1)土木工学　(7)自動車工学
(2)機械工学　(8)衛生工事
(3)電気工学　(9)冷　房
(4)船舶工学　(10)工業化学
(5)化学工学　(11)測　量
(6)無線工学　(12)造船学

フィリピン

研修開始時期
資　　　格
年　　　令
学　　　歴　中等学校卒業証書（Diploma）
言　　　語
その他必要な資格

試　　　験
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿泊施設　なし
その他　土木工学、電気工学、機械工学、船舶工学、造船学の専門過程及びディーゼル機械学、機械工場実習、印刷の修了コースもあり。

10、6　機関名　フィリピン工芸大学、Manila
所属機関　文部省
研修コース　期間　2年
(1) 機械工学
(2) 電気工学
(3) 自動車工学
(4) ビル建築
(5) 冷房及び空気調節
(6) 窯業技術
(7) 製図技術

研修開始時期
資　　　格
年　　　令　16才以上
学　　　歴　中等学校卒業修了証書（Certificate）
言　　　語
その他必要な資格

試　　　験　入学試験
使用言語　英語
取得できる修了証　熟練修了証書（Certificate）
宿泊施設　なし

その他 (i) 上記専門分野の産業教育（B．S及びM．S）の学位課程もあり。
(ii) コロンボ計画及び米国AIDの援助あり。

10、7

機関名 電気通信研修所、Km,13 Valenzucla Bulacan
所属機関
研修コース 電気通信　期間
(1) 外部施設 22週間
(2) 自動電話交換 38 〃
(3) 電信 23 〃
(4) 無線 28 〃
(5) 搬送電送 10 〃
(6) 基礎配線工事 3 〃

研修開始時期 当局の研修要請による。
資格
年令 18才以上
学歴 中等水準以上の職業補導2年コース卒業生、工業課程在学生、電気工学又は機械工学の卒業生。
言語 英語
その他必要な資格 資格検定試験及び面接にパスすること。国立病院の健康診断書及び警察当局による賞罰報告により証明された身心共健全なもの。

試験 筆記資格検定試験
使用言語 英語
取得できる修了証 修了証書（Certificate）
宿泊施設 なし
その他 電気通信研修所はフィリピン政府と国連特別基金との合同計画であり、国際電気通信連合はこの計画のための実施機関として活動する。

10、8

機関名 イースト大学、工業学校、Caloocan City
所属機関 文部省、私立学校局

フィリピン

研修コース　期間 1年
(1) ビル建築
(2) 窯　業
(3) 印　刷
(4) 木　工

研修開始時期
資　格
年　令
学　歴　中等学校修了証書 (Diploma)
言　語
その他必要な資格

試　験
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書 (Diploma)
宿泊施設　なし
その他　イースト大学の付属機関でマニラにある自動車機械学及びディーゼル機械学の修了証書 (Certificate) 取得課程もあり。

シンガポール

11、1 機関名　シンガポール工芸学校、Prince Edward Road Singapole 2.
所属機関　1954年のシンガポール工芸学校令23号により設立。
研修コース　期間(1)〜(7)3年 (8)4年6カ月
(1) ビル建築
(2) 土木工学
(3) 電気工学
(4) 機械工学
(5) 電気通信工学
(6) 生産工学
(7) ゴムとプラスチック
(8) 船舶工学

シンガポール

研修開始時期　5月の最終月曜日
資格
年令
学歴　数学の単位、科学の単位と英語の単位又は英語にパスすることもしくは数学の単位と科学2科目の単位を持つことを証明する1級あるいは2級の学校修了のこと。
言語
その他必要な資格

試験
使用言語　英語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿泊施設　なし
その他　(i) コロンボ計画に基づくオーストラリア、カナダ、ニュージランド及び西独、フォード基金による援助あり。
(ii) 建築製図、構造工学、ビル建築、土木工学、電気工学、機械工学、土地測量及び電気通信工学に関する定時制課程もあり。

11、2

機関名　マレーシア・シンガポール航空、Airways House, Raffles Place, Singapore 1
所属機関　民間企業（マレーシア・シンガポール政府の持株過半数）
業務内容　航空運航業務
雇用者数　専門技師、技師　12
技能者　136
熟練工等　418
訓練内容　航空機保守　期間5年

研修開始時期　5月1日
資格
年令　16～20才
学歴　高等学校卒業及び英語、数学、科学科目の履修証明を持ったシニアケンブリッジ。
言語　英語
その他必要な資格

シンガポール

試験　機械に対する適性検査
使用言語　英語
取得できる修了証　航空機整備士免許証
宿泊施設　なし
その他　(i) 見習熟練工研修
(ii) MSA（マレーシア・シンガポール航空）所有のダコタ、フレンドシップ、コメット、ボーイング707及びボーイング737に対処できるようにエンジン、機体、電気機具、計器の4部門に於ける技師の専門研修
(iii) パイロットの専門研修——MSA所有の飛行機すなわちダコタ、フレンドシップF.27、コメット4、ボーイング707及びボーイング737に対処できるようにある種の飛行機から他種の飛行機への機種変更

11、3

機関名　シンガポール酸素会社 7th Mile Bukit Timah Road, P.O.Box 4001 シンガポール21
所属機関　民間会社
業務内容　工業用及び医療ガスの製造、手動アーク溶接用電極
雇用人数　専門技師、技師　5
技能者　4
熟練工等　13
研修コース　酸素およびアセチレン溶接と切断
研修開始時期　特に定めず
資格
年令
学歴
言語
その他必要な資格
試験
使用言語　英語
取得できる修了証
宿泊施設　なし
その他

12、1 機関名 民間航空研修センター、Baholyodhin Highway, Bang Kok

所属機関 逓信省、航空局

研修コース 民間航空

	期間
(1)航空運輸業（基礎及び監督者コース）	45週間
(2)通信 操作（基礎及び監督者コース）	〃
(3)通信と航路標識保守（基礎コース）	90週間
(4)航空機計器のオーバーホール（基礎コース）	〃
(5)飛行機保守コース（基礎コース）	〃
(6)飛行機操縦士コース	75週間

研修開始時期 5月

資格

年令 17才

学歴 高等学校卒業又は同等の者で、英語と科学（特に数学と物理）の知識が十分あること。

言語 英語

その他必要な資格 操縦士志望者は信頼できる当局の保証があり、健康診断証明書及び保証人又はスポンサーがあること。

試験 推せんされない私学学生及び資格の疑わしき者に対し入学試験の実施

使用言語 英語

取得できる修了証 修了証書（Certificate）

宿泊施設 あり

その他 (i) VOR保守、SSB保守の特別コース、トランジスター機器の保守及び民間操縦士コース

(ii) 英語に堪能でない者に対するATEコース

(iii) センターのコースは東南アジア地域からの特別の要望に応えるべくつくられている。

(iv) 国連特別基金、コロンボ計画及び米国AIDの援助有。

12、2

機関名 Nondhaburi 電気通信学校（Instirt） Nondhaburi

所属機関 文部省職業教育局

タ　イ

研修コース　期間3～5年
電気通信
(1) ラジオとテレビ
(2) 電話
(3) 電信
(4) マイクロウエーブ

研修開始時期　6月1日
資格
年令　23才まで
学歴　中高等学校5年修了証書（Certificate）（12学年）
言語　タイ語、英語
その他必要な資格

試験　入学試験
使用言語　タイ語
取得できる修了証　文部省の修了証書（Diploma）
宿泊施設　なし
その他　コロンボ計画に基づく日本の援助

12、3

機関名　タイ・ドイツ技術学校 Bangkok
所属機関　文部省、職業補導局
研修コース　期間　中高等学校6年～2年又は5年～3年
(1) 機械技術者
(2) 電気技術者
(3) 機械工学
(4) 工業配管
(5) 電子機械学

研修開始時期　6月1日
資格
年令　23才まで
学歴　(1)中高等学校5年修了　(2)中高等学校6年修了
言語
その他必要な資格　中高等学校3年次の平均点が60%以上必要。

試　　　　験　理論及び実習試験
使用言語　タイ語（英語、ドイツ語）
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿泊施設　なし
その他　(i) 西ドイツの援助
(ii) 研修施設はタイ語の知識のある他国民に対し、開放される。

12、4

機関名　タイ・ドイツ技術学校　Khon Kaen
所属機関　文部省、職業教育局
研修コース　期間2年
(1) 自動車機械学
(2) 機械学
(3) 電気工学
(4) 工業配管
(5) 技術製図

研修開始時期　6月1日
資格
年令　23才まで
学歴　中等教育修了証明及び当校よりの職業訓練修了証明。
言語　タイ・英語
その他必要な資格

試験　選抜式
使用言語　タイ語
取得できる修了証　文部省の修了証書（Diploma）
宿泊施設　あり
その他　ドイツ連邦共和国政府の援助

12、5

機関名　Thonburi 技術学校　Thonburi
所属機関　文部省、職業教育局

タ　イ

研修コース　期間 各2学期を3学年
(1) 土木技術
(2) 電気動力技術
(3) 機械動力技術
(4) 生産技術

研修開始時期　6月1日、3月30日終了
資格
年令
学歴　中高等学校5年（12学年）、一般教養過程、選択科目科学
言語　英語
その他必要な資格

試験　国立教育審議会により実施される。
使用言語　タイ語
取得できる修了証　修了証書（Certificate）
宿泊施設　あり
その他　国連開発計画、国連特別基金の援助

ヴイエトナム

13、1　機関名　高等建築学校、196 Pasteur Street, Saigon
所属機関　文部省、サイゴン大学
研修コース

		期間
(1)	建築学（技術者）	3年
(2)	都市計画	3年
(3)	建築学の高等研究	6年

研修開始時期　8月
資格
年令　18〜25才
学歴　中学校修了（Diploma）
言語　フランス語又は英語
その他必要な資格

試　　　験　試験
使 用 言 語　ヴイエトナム語、フランス語
取得できる修了証　建築学の修了証書（Diploma）
宿 泊 施 設　なし
そ　の　他　コロンボ計画に基づくオーストラリア、イギリス及びフランスの援助

13、2

機　関　名　高等電気技術学校、Pho Tho National TechnicalCentre P. O. Box 4, Saigon
所 属 機 関　文部省
研修コース　期間 3年
(1) 電気工学
(2) 電子工学

研修開始時期　（大体）7月15日
資　　　格
年　　　令　17～23才
学　　　歴　中学校修了（Diploma）
言　　　語　フランス語
その他必要な資格

試　　　験　競争試験
使 用 言 語　ヴイエトナム語、フランス語
取得できる修了証　修了証書（Diploma）
宿 泊 施 設　なし
そ　の　他　(i) フランス語を話す海外（留）学生は各分野、4～6箇所提供される。
(ii) フランス、米合衆国ＡＩＤの援助。

13、3

機　関　名　高等公共土木工事学校 Phu Tho National Technical Center P. O. Box 4 Saigon
所 属 機 関　文部省

ヴイエトナム

研修期間

研修コース (1) 土木工学(専門過程) 4年

(2) 土木工学(技術過程) 3年

(週30時間、年30週間、カリキユラムは理論、実習、研修旅行を含む)

研修開始時期 8月

資格

年令 (1) 17~26才

(2) 16~23才

学歴 (1) 高等学校修了(Diploma)(2)中学校修了(Diploma)

言語 フランス語又は英語

その他必要な資格

試験 入学試験

使用言語 最終学年ヴイエトナム語とフランス語

取得できる修了証 (1) 公共土木工事又は土地台帳測量技師の修了証書(Diploma)

(2) 公共土木工事又は土地台帳測量技能者の修了証書(Diploma)

宿泊施設 なし

その他 フランス、米合衆国AID及びアジア財団の援助

13、4 機関名 化学技能者部門、Phu Tho National Technical Centre P. O. Box 4 Saigon

所属機関 文部省

研修コース 期間 3年 化学工学

研修開始時期 8月

資格

年令 16~23才

学歴 中学校修了(Diploma)

言語 ヴイエトナム語とフランス語又は英語 語学試験

その他必要な資格

試験 競争

使用言語 最終学年、ヴイエトナム語とフランス語

ヴイエトナム

取得できる修了証　化学取扱技能者の修了証書（Diploma）
宿泊施設　なし
その他　(i) 米合衆国ＡＩＤの援助
(ii) 海外研修生はヴイエトナム語又はフランス語の知識必要。

13、5

機関名　ヴイエトナム海洋航海学校、Phu Tho National Technical Centre Cho Lon サイゴン。
所属機関　文部省
研修コース　期間3年
海洋航海
(1) 甲板部
(2) 機関部

研修開始時期　7月中旬
資格
年令　17才以上
学歴　中学校修了（Diploma）
言語　フランス語と英語　試験
その他必要な資格

試験　競争試験
使用言語　ヴイエトナム語とフランス語
取得できる修了証　2部門の学校修了証書（Diploma）即ち、第2年終了時の理論修了証書及び第3年終了時の実習修了証書
宿泊施設　なし
その他　フランスの援助

研修科目参照索引

この総覧に載つている各教育機関や研修施設には、2種類の参照番号がついている。前の番号は国を表わし、後の番号は、その国の研修期関や研修施設を表わす。例えば、土木工学の11•1は11が国を表わす。即ちシンガポールであり、1はこの総覧でシンガポールの項の目録に載つている最初の研修機関を表わす。この場合、シンガポール工芸学校，Prince Edward Road, Singapore 2，である。

国の番号は次に示される通りである。

1. アフガニスタン	6. イラン	11. シンガポール
2. ビルマ	7. 大韓民国	12. タイ
3. セイロン	8. マレーシア	13. ヴイエトナム
4. インド	9. パキスタン	
5. インドネシア	10. フイリピン	

空航管理者研修
4・17

航空通信
4・18；4・66；5・1；7・2；12・1

航空工学
4・66；5・1；7・2；10・2

農業
4・1；8・1

農機具利用研修
4・57

航空管制
4・17；7・2；12・1

航空機整備及び保守
4・66；7・2；10・2；11・2；12・1

航空路研修
4・17

養蜂研修
4・4

見習制
3・6；4・63；4・65；4・66；4・69；4・70；4・71；4・72

建築
4・16；8・3；9・10；13・1

聴力測定
4・3

自動車工学
3・1；9・1；9・2；9・4；9・5；9・6；9・7；10・2；10・5；10・6

自動車機械学
1・1；6・1；6・2；6・3；6・4；12・4

航空技術
1・1

航空技術
7・2

ビル建築
1・1；6・1；6・2；6・5；10・2；10・6；10・8；11・1

木工
6・2

窯業技術
4・26；10・6；10・8

化学工学
3・1；10・5；13・4

化学製品製造
4・63

化学　技術と応用
4・59

民間航空
4・17；4・18；4・66；5・1；7・2；9・16；10・2；11・2；12・1

土木工学
1・1；3・1；3・3；4・7；4・23；4・27；4・59；8・3；9・1；9・2；9・3；9・4；9・7；9・11；10・2；10・5；11・1；12・5；13・3；

臨床医学技術
4・3

職業指導者研修
4・9；4・10；4・11；4・12；4・13；4・14；4・15

酪　農
4・1；4・19；4・49

酪農技術
4・19；4・49

ディーゼルエンジン工学
9・1；9・2；9・3；9・4；9・6；9・7；9・12；10・2

製図技術
6・4；9・2；9・5；10・6；12・4

電気工学
1・1；3・1；3・3；4・7；4・23；4・26；4・27；4・59；6・5；7・5；8・3；9・1；9・2；9・3；9・4；9・5；9・6；9・7；9・14；10・2；10・5；10・6；11・1；12・3；12・4；12・5；13・2

電気工事
6・2；6・3；6・4

電気　発電及び送電
7・5

電子技術
4・3；12・3

電子工学
1・1；3・1；4・41；6・1；6・4；9・3；9・6；13・2

農業機械
10・1

肥料製造
4・63；4・64

漁業技術
4・5；4・7；7・1；7・3

製靴技術
4・24；4・25

林　業
4・38；4・50

鋳造実習
6・1

ガラス器製造
4・36

穀類貯蔵
4・28

手織機技術
4・29

土木建設用運搬重機械　操作、保守及び整備
4・52；4・53；4・54；4・55

重電気機製造
4・65

工業化学
10・5

器機製造技術
4・69

製　鉄
4・60；4・61；4・67；4・73；4・74

ジュート技術
4・32

研究所助手（医療）
3・5；4・3；4・58

ラック栽培
4・30

皮革製造
4・25

皮革製造技術
4・6；4・24；5・2

機械工場実習
1・1；4・36；6・3；6・4；10・2；12・3；12・4

機械工具
6・1；6・2；6・4

マラリア撲滅
10・4

経営研修（繊維産業）
4・51；7・4

舶用ディーゼル機関
2・1；9・9

船舶工学
4・20；4・34；10・2；10・5；11・1

石　工
6・3

機械工学
3•1;3•3;4•7;4•23;4•26;4•27;4•59;6•5;8•7;9•1;9•2;9•3;9•4;9•5;9•6;9•7;9•14;10•5;10•6;11•1;12•3;12•5

冶 金
4•27

マイクロフイルム
9•12

鉱物資源探査
4•35

鉱 業
4•35

鉱山学
4•40;4•44

映画撮影技術
4•22

造船学
10•5

航 海
4•7;4•21;4•34;13•5

油やし栽培
8•1

現場研修
4•62;4•65;4•73;7•4;7•5

視力検査
4•3

視軸矯正
4•3

製紙技術
4•45

石油産業（石油製品の製造）
5•62

写真複写技術
9•12

物理療法
4•3;5•3

パイロット研修
5•1;7•2;12•1

プラスチック技術
11•1

鉛 管
6•3;12•3;12•4

船員再研修
4•34

動力工学
9•3;9•11

印刷技術
4•39;4•42;4•46;9•12;10•8

生産工学
11•1;12•5

原型生産
4•70;4•71;4•72

公衆衛生工学
4•2

積 算
8•3

レントゲン写真技術
3•2;8•2

放射線学
4•3

無線工学
4•41;9•5;9•6;10•2;10•5

無線業務
4•41

鉄道信号及び操作
4•31;9•13

冷房及び空気調節
4•7;6•4;9•3;9•5;9•6;10•2;10•5;10•6

ゴム栽培
8•1

ゴム生産技術
11•1

衛生工事
4•59;10•5

土壌保持
4•47;4•48

音響工学
4•22;4•41

統 計
4•33

構造工学
4•23

精糖技術
4•37;9•1

管理監督者研修
4•51;4•67;4•74;9•8

測 量
3•3;3•4;8•3;9•11;10•2;10•3;10•5

電気通信
3•1;4•8;4•27;4•41;4•68;8•4;9•15;10•7 11•1;12•2

テレビジョン
10•2

繊維生産
4•59

繊維技術
4・23；4・26；5・4；6・5；
7・4；10・2

繊維（合成繊維）
4・43

都市計画
4・7；8・3；13・1

トラクター研修
4・56；4・57

水利保持
4・47　・48

溶　接
6・3；9・14；11・3

木　工
6・3；9・14；10・8

第 2 部

第 2 部
地域各国政府が提供する諸経費及び その他の便宜

アフガニスタン政府により提供される経費及び施設

滞在費	一般研修	：月3,000アフガニ
	研究研修	：月5,000アフガニ
入院中の滞在費		
医療	a 経費	
	b 施設	あり
支度料		
書籍費又は資材費		
旅費	a 供与国まで及び供与国より	
	b ルート	
	c 研修国内	
荷物の運搬		
入学金または他の経費	研修コースに係るすべての必要経費	

注：替為レート表付録ivはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

ビルマ連邦政府により提供される経費及び施設

滞在費	学者	食事と宿泊の実費支払及び雑費の支払について、地域により、月額１００キーアトまでの滞在費
	研修生	食事と宿泊の実費支払及びラングーンでの研修中の雑費支払に月額５０キーアトの追加費、研修がラングーン以外で実施される場合は月額２７５キーアトの滞在費の支払。
	高級研修生	政府によつて指定された宿泊所での食費と宿泊の実費支払とラングーンでの研修中の雑費支払に月額１００キーアトの追加費。研修がラングーン以外で実施される場合月額４２５キーアトの滞在費の支給。
入院中の滞在費		
医療 a 経費		
医療 b 施設	b．学者、研修生、高級研修生	国立病院に於いて歯科の料金を除く無料診料。
支度料		
書籍費又は資材費	学者	関係機関の推せんによる書籍、器具の購入に対し、３００キーアトまでの支給。
旅費 a 供与国まで及び供与国より		ビルマに来る研修生に対し、往復の船賃又は飛行機賃（後者の場合はツーリストクラス）は支給される。
旅費 b ルート		ビルマ連邦の船又は航空機を利用できる場合は、研修生はこれによる旅行を要求される。
旅費 c 研修国内	学者	研修が研修場所の移動を伴う場合は国内旅行の費用の支給。
	研修生と高級研修生	公に認められた研修旅行のための国内旅行の費用の支給。
荷物の運搬		
入学金又は他の経費	学者	授業料入学金等の研修費用の支給。

注：替為レート表付録Ⅳはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

セイロン政府により提供される経費及び施設

滞在費		食事と宿泊所が提供されない場合月額15ルピー。研修生が、食事と宿泊所が定額で提供される機関で研修する場合は、雑費のための費用を加えた定額が支給される。
入院中の滞在費		研修生が入院中宿泊所を確保する必要がある場合、全額あるいは一部が支給される。
医療	a 経費	a セイロンでかかつた医療費
	b 施設	b 国立医療機関では入院費無料
支度料		支度料は必要な場合支給される。
書籍費又は資材費		研修に必要な書籍及び資材の費用は支給される。又は、書籍と資材は提供される。
旅費	a 供与国まで及び供与国より	a 往復の渡航費　ツーリストクラス
	b ルート	
	c 研修国内	c 研修に係る旅費は支給される。又は、代りに交通手段が提供される。
荷物の運搬		
入学金又は他の経費		入学金又は他の経費は支給される。

注：替為レート表付録Ⅳはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

インド政府により提供される経費及び施設

滞在費

	カテゴリーⅠ（月）	カテゴリーⅡ（月）	カテゴリーⅢ（月）	カテゴリーⅣ（月）
ボンベイ，カルカッタ マドラス，デリー，……	600ルピー	450ルピー	300ルピー	250ルピー
他の場所……………	550ルピー	375ルピー	250ルピー	200ルピー

インドでの研修期間中、研修生が休暇又は他の理由により本国に帰国する場合、滞在費はその期間支給されない。

経済問題省は適当と認める場合と研修機関の推せんにより、カテゴリーⅡとカテゴリーⅢの研修生の滞在費の規定を50ルピーまで、特別に上まわることを認めることができる。

入院中の滞在費

研修生がインドで1ヵ月又はそれ以上の長期入院し、病院で無料の食事を食べる場合、滞在費は入院中50％減額される。

医療

a 経費 b 施設

a　研修機関、施設の長に認められた額までの医療費で研修生が実際に支払つた額は、領収書の提出により支払われる次の項目の費用は返済されない。

(i)食費及び強壮剤費；(ii)眼鏡、義歯、補聴器、整型外科の器具の費用；(iii)最初の3ヵ月間又は患者が余病を進行させ、入院中を除き、糖尿病折制薬の費用；(iv)性病、振戦譫妄症、不妊症、性交不能症、肥満症、結核

支度料

研修生が研修機関又は施設に入つた際各研修生に200ルピーの支度料が与えられる。

経済問題省はインドの研修場所より暖かな国より来る研修生には、各研修生に対し200ルピーの増加支度料の支給を認めることができる。

書籍費又は資材費

研修機関の長に認められた額までの中、研修生が実際に支払つた妥当な費用は領収書の提出により支払われる。

a 供与国まで及び供与国より

a　※空路又は※海路

	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢとⅣ
※空路	（すべてのカテゴリーともツーリスト（エコノミー）クラス飛行機渡航）		
※海路	適当な1等船室（個室）30ルピー	利用できる場合1・2等船室、上記船室が利用できない場合、合部屋1等船室 25ルピー	適当な二等船室、上記船室が利用できない場合はカテゴリーⅡと同じ。20ルピー

旅行　b ル ー ト	b 各旅行について供与国から支払われる雑費
c 研修国内	c (i)研修、訓練、視察旅行に関しインドでの旅行について (ii)訓練又は研修場所への旅行又は訓練旅行に関し、インド国内を旅行する旅行手段 研修期間中、研修生が休暇その他の利用により本国に帰国する場合、旅行手当は、その旅行及び本国からの旅行に関し支払われない。 研修場所から及び研修場所までの旅行又は研修旅行に関し、研修生は24時までは10ルピー、24時間を越す場合は20ルピーまでの旅行雑費を支給される。

旅行　c 研修国内

	I	II	III	IV
利用できる場合	一等又はエアコン付汽車	一等車	一等車	二等車

d 日当　d すべての研修生は、インド国内での研修、視察、訓練、旅行を実施するよう研修機関の長より要請された時は必らず次の基準により日当を支給される。

	ボンベイ，カルカツタ マドラス及びデリー	他の場所
(i)一箇所での最初の10日間……	一晩15ルピー	一晩10ルピー
(ii)一箇所での10日を越す期間……	一晩10ルピー	一晩7.5ルピー

注：(a) 日当は通常の1カ月の滞在費に追加して認められる。
(b) 日当は、主たる研修機関から離れて滞在する場合認められる。故に主たる研修期間は研修機関の所在地であり研修生が特別の機関にいる場合のその所在地でない。主たる研修機関はこのため、経済問題省によつて指定される。
(c) 日当は車中で夜を越す場合には認められない。汽車の場合の雑費は払われる。

荷物の運搬　研修の終了の際、研修生は研修機関の長により、船、鉄道、陸上による書籍等の運搬支払経費は50ルピーを超過しない実費を支給される。

入学金又は他の経費　研修機関組織の長により認められる実費。

インドネシア政府により提供される経費及び施設

滞在費			a 食事と宿泊無料 b 月750ルピーア
入院中の滞在費			
医療	a	経費	a 関連法規により無料診料
	b	施設	
支度料			年2,000ルピーア
書籍費又は資材費			支度料と滞在費に含まれる。
旅費	a	供与国まで及び供与国より	a ジヤカルまで及びジヤカルタからのツーリストクラスの渡航
	b	ルート	
	c	研修国内	c 飛行機、船、陸上旅行の切符は公に認められた研修旅行には提供される。
荷物の運搬			
入学金又は他の経費			無料

注：替為レート表付録ivはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

大韓民国政府により提供される経費及び施設

滞在費		a 到着時の一月間は1日3,300ウオン。 b 上記以外1日2,200ウオン。
入院中の滞在費		上記に同じ。
医療	a 経費	a 大韓民国の関連法規により無料診料が利用できる。
	b 施設	b あり
支度料		15,000ウオン
書籍費又は資材費		書籍費又は資材費は滞在費に含まれる。
旅費	a 供与国まで及び供与国より	a 大韓民国までの及び大韓民国からのツーリストクラス飛行機渡航。
	b ルート	b 東京
	c 研修国内	c 公に認められた研修旅行には大韓民国内の旅費が支給される。
荷物の運搬		研修に関係する印刷物は大韓民国政府により送付される。
入学金又は他の経費		他の経費は関連法規により政府により負担される。

注：替為レート表付録Ⅳはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

マレーシア政府により提供される経費及び施設
(西マレーシア)

滞在費	高級研修生給費額　月400マレーシアドル(年4,800マレーシアドル) 一般研修生給費額　月350マレーシアドル(年4,200　〃　) 奨学生の給費額(マラヤ大学) 月200　〃　(年2,400　〃　) 奨学の給費額(他の研修所) 月135　〃　(年1,620　〃　)
入院中の滞在費	
医療　a 経費	
医療　b 施設	b あり
支度料	
書籍費又は資材費	研修機関にいる場合は、年180マレーシアドルの書籍費以外支給せず(書籍に類するものは滞在費に含まれる)
旅費　a 供与国まで及び供与国より	a 最寄りの空港よりクアラルンプールまで及び帰路のエコノミクラスの飛行機賃。
旅費　b ルート	
旅費　c 研修国内	c 交通手段が提供されない場合、研修コースに必要なすべての費用は政府により支給される。
荷物の運搬	7Kgまでの超過荷物送付料
入学金又は他の経費	研修コースに関係するすべての経費は政府により支給される。

注：替為レート表付録Ⅳはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

パキスタン政府により提供される経費及び施設

滞在費	研修生 (i)カラチ、ラホールとダツカでは月380ルピー (ii)ケツタ、ハイデラバツト、ラワルピンデイ、チツタゴンのような他の大都市では月300ルピー (iii)他の場所では月250ルピー 奨学生 (i)上記(i)と(ii)に挙げられた場所では月200ルピー (ii)他の場所では月180ルピー パキスタン地域研修センター、ワルトン、ラホールでの研修につきパキスタン政府の一般オファーにより支給される滞在費は月460ルピー。
入院中の滞在費	
医療 a 経費	
医療 b 施設	b あり
支度料	研修期間の大部分が冬期の月に亘る場合、研修場所より暑い気候の地域から来る研修生に対し、大蔵省経済問題局の決定により、350ルピーまでの支度料が支給される。
書籍費又は資材費	支給される　実際の支給額は各人の成績により決定される。
旅費 a 供与国まで及び供与国より	a 自国で乗る港、空港からパキスタンで降りる港、空港までの船賃と飛行機賃、帰国の際も同じ。
旅費 b ルート	
旅費 c 研修国内	c 食事、宿泊所及び他の旅行手段はパキスタンでの移動の間提供される。
荷物の運搬	
入学金又は他の経費	研修コースに係るすべての必要な経費

注：替為レート表付録ivはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

フィリピン政府により提供される経費及び施設

滞在費		食事と宿泊に月150〜300ペソ
入院中の滞在費		
医療	a 経費	
	b 施設	b 保健省により提供され得るすべての施設
支度料		
書籍費又は資材費		研修生の研修中の機関又は施設の長により認められ、指示された書籍の実費
旅費	a 供与国まで及び供与国より	a 往復の渡航費（ツーリストクラス）
	b ルート	
	c 研修国内	c 国内旅費平均月100ペソが提供される。
荷物の運搬		
入学金又は他の経費		必要経費は免除される、あるいはその経費は支給される。

注：替為レート表付録IVはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

シンガポール政府により提供される経費及び施設

	奨学生	一般研修生	高級研修生
滞在費	月300シンガポールドル	月360シンガポールドル	月440シンガポールドル
入院中の滞在費			
医療 a 経費			
医療 b 施設	b 無料診療が行なわれる。		
支度料			
書籍費又は資材費	奨学生　160シンガポールドルまで		
旅費 a 供与国まで及び供与国より	研修任命者の国とシンガポールとの往復のためにツーリストクラス飛行機及び船の無料往復切符		
旅費 b ルート			
旅費 c 研修国内	奨学生と高級研修生は国内旅費を支給される。		
荷物の運搬			
入学金又は他の経費	研修料、登録費と試験料は提供される。		

注：(1)奨学生：1年を越える期間又は4年以上の期間
高級研修生：6カ月までの期間
研修生：1年間
（研修生の種類は志願者の年令及び学歴に依る。）

(2)替為レート表付録Ⅳはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

タイ政府により提供される経費及び施設

滞在費	職業訓練生	月1,300バーツ
	大学生	月1,500 〃
	大学院生	月1,500 〃
		月2,100 〃
	一般研修生	月2,100 〃 研修が2週間以内なら日130バーツ又は
	高級研修生	月3,000 〃 研修が2週間以内なら日160バーツ
入院中の滞在費		
医療 a 経費		
医療 b 施設	b 歯科料金を除く全ての診料は全ての研修生に提供される。	
支度料	研修期間が6カ月を越す研修生には1500バーツが支給される。	
書籍費又は資材費	各研修生は書籍費と資材費として年1200バーツ給費される。	
旅費 a 供与国まで及び供与国より	a タイへの及びタイからのツーリスト(エコノミー)クラスの飛行機賃はタイ政府により支給される。	
旅費 b ルート		
旅費 c 研修国内		
荷物の運搬		
入学金又は他の経費	研修料、登録費と試験料はタイ政府により支給される。	

注:替為レート表付録Ⅳはコロンボ計画諸国の通貨等価を示す。

付録 I

域内研修連絡担当官

（下記に挙げられたリストは各国政府によりコロンボ計画事務局域内研修連絡担当官としての役目を果たすよう任命された者及び、このハンドブックのための情報収集に際し、連絡担当官として実際に活動している者から成立つている。）

政府	域内研修連絡担当官	名称及び住所
アフガニスタン	Hidsyatullah Azizi, Esq.	President Department for Economic and Technical Cooperation Ministry of Planning Kabul
ブータン	Dawa Tsering, Esq.	Secretary General Development Wing Government of Bhutan Paro Bhutan
ビルマ	U Ba Tin	Deputy Secretary Ministry of National Planning Old Secretariat Rangoon
セイロン	M. A. Mohamed, Esq.	Assistant Director of Foreign Aid Department of Foreign Aid 7, Prince Street Colombo 1
インド	K. C. Sodhia, Esq.	Under Secretary Department of Economic Affairs Ministry of Finance Jeevan Deep Parliament Street New Delhi

政　府	域内研修連絡担当官	名称及び住所
インドネシア		Chief, Foreign Aid Division State Secretariat Djalan Segara No. 20 Djakarta
イラン		The Director Bureau of International Co-operation Plan Organisation Teheran
大韓民国	Man-Yong Lee, Esq.	Chief, Bilateral Cooperation Division Technical Co-operation Bureau Ministry of Science and Technology Seoul
ラオス		Le Directeur General de l'Education Ministere de l'Education Nationale Royaume Du Laos Vientiane
マレーシア	Mohamed bin Anas, Esq.	Principal Assistant Secretary (Scholarships & Training) Establishment Office Malaysia Jalan Sultan Hishamuddin Federal House Kuala Lumpur
モルディブ諸島	Hussain Ali Didi, Esq.	Under-Secretary Colombo Plan Division Office of the Prime Minister Male
ネパール	J.L.Maskey, Esq.	Under-Secretary Ministry of Economic Planning H. M. Government of Nepal Singha Durbar Kathmandu
パキスタン	Mohamad Afzal, Esq.	Section Officer Economic Affairs Division President's Secretariat Ialamabad
フイリピン	Guillermo A.Salazar, Esq.	Senior Development Projects Co-ordinator National Economic Council Padre Faura Street Manila

政　府	域内研修連絡担当官	名称及び住所
シンガポール	Howe Wee Chong, Esq.	Administrative Assistant Economic Development Division Ministry of Finance 5th Floor Fullerton Building Singapore-1
タ　イ	Pracha Chaowasilp, Esq.	Chief, TCD—Colombo Plan Division Department of Technical & Economic Co-operation Krung Kasem Road Bangkok
ヴイエトナム	Le Dinh Vien, Esq.	Inspector of Technical Education Directorate of Technical Education Ministry of National Education 48, Phan Dinh Phung Saigon

付　録　Ⅱ

クウエスチヨネアー

クウエスチヨネアー
（研修機関※）

南及び東南アジアの技能者及び技能者（養成）教師
のための研修施設

1. 研修機関の名称及び住所
2. 所属機関
3. 技能者研修コース
   (a)
   (b)
   (c)
   (d)
   (e)
4. 研修コースの期間
5 研修開始時期
6 資　格
   (a) 年　令
   (b) 学　歴
   (c) 言語（参加前の言語テストの有無）
   (d) その他の資格
   (e) 試　験

7. 使用言語

8. 研修料及びその他必要経費

9. 与えられる修了証書（Diploma 又は Certificate）の種類

10. 研修生用の宿泊所又は寄宿舎の提供の有無（詳細に）

11. 研修施設は外国の研修生に提供されるか。提供される場合、如何なる分野の技能者研修であるか、技能者養成教師のための研修が可能であるか述べて下さい。

12. この機関は

(a) 地域的規模で顕著な研修施設

(b) 地域の研修センターへの発展可能性を有するとみなされ得るか。

13. 使用言語に十分通じていない外国研修生に特別な言語教育をする準備の有無

14. 外国の援助を何らかの型で受けているか。例えば、国連専門機関、コロンボ計画、米国AID、私的財団又は他の機関（援助の形態、種類、その出所を述べて下さい。）

15. その他

※ このクウエスチヨネアーは技能者又は技能者養成教師のみを対象とする研修施設を有する研修機関及び政府省庁に送付される。技能者は職工と専門技師の中間で働く者のことである。技能者は工業技能者又は工学技能者である。半熟練労働者又は見習者のみを対象とする機関や普通の中等レベルの職業訓練機関は含まれない。

クウェスチョネアーII
（産　業※）

南及び東南アジアの技能者のための研修施設

1. 企業、会社、製作所、工場、作業所の名称及び住所
2. 経営権（民間経営、政府経営の別を述べて下さい。）
3. 業務の種類：（もしあれば、製造品を挙げて下さい。）
4. 従業員総数
5. 貴機関は技師、工師、技能者、職人を雇用していますか？

   雇用している場合、人数を述べて下さい。

   (i) 専門技師（その経歴として、大学、専門教育を要する。）
   (ii) 技能者（研究所助手、職工長、職場監督者はその経歴として中等教育を要する。）
   (iii) 職工、職人、熟練工（経歴として読書の能力を要する。）

6. 技能者レベルの者に対し提供される研修に関する簡単な事項（例えば、研修の形態、実習、現場研修、理論指導等に充てられる割合）
7. 研修期間
8. 研修の開始時
9. 資　格

   (1) 年　令
   (2) 学　歴
   (3) 実技経験
   (4) 言語（参加前の言語テストの有無）
   (5) その他の資格
   (6) 試　験

10. 使用言語
11. 支払うべき研修費又は講習料
12. 与えられる修了証書（Diploma 又は Certificate）の種類
13. 研修生用の宿泊所の提供の有無（詳細に述べて下さい。）

14. 研修施設が隣国からの研修生に提供されるか。提供される場合、何箇所であるか述べて下さい。

15. この産業機関は地域的規模で顕著な研修施設を有するとみなされ得るか。

16. 使用言語に十分通じていない外国研修生に特別な言語教育をする準備の有無。

17. 外国の援助を何らかの型で受けているか。例えば、国連専門機関、コロンボ計画、米合衆国ＡＩＤ、私的財団又は他の機関（援助の型、その出所を述べて下さい。）

18. その他

※ このクリスチョネアーは技能者研修施設を持つ企業、会社、製作所、工場、作業所に送付される。

付　録　Ⅲ

技　術　用　語　解　説

このハンドブックに載つている用語の多くは、この用語解説で定義される。

専門技師、技師、技術者、技能者、職工の定義は、欧米の技師の専門機関により、会議のディスカッションに於いて一般的に受入れられてきており、工場報告やハンドブックの第1版に採用された。これらの用語の定義は、このハンドブックのためにそのまま採用されている。

その他の用語と解説は、1963年の技術教育に関する調査委員会の報告――セイロン政府議事録第10――の用語解説から採録されており、このハンドブックの利用者に有益なものとなろう。

技　術　教　育

種々の生産及び※用役の分野に於ける特殊な職業に就く学生に対する実習、理論及び全般的準備に関する教育の型態。

この教育は、半熟練の仕事や機械的作業の段階から、専門職業や管理、行政的な責任の重いポストまで、あらゆる水準の職業にまで関係している。

技術教育は、教育の全過程で総合的ではあるが、それぞれ明白に異なつた部分を構成している。本教育は、「高等教育」の分野に於いて成長し、そこで最も大きな部分を占め、非常に発達した部門を構成している。しばしば、技術及び科学設備の利用を含んでいる。

すべての技術教育は、(a)基礎科学科目、(b)技術科目、(c)一般科目を含む。

(a) 基礎科学科目　　これらの科目の目的は、学生に技術的仕事を一層多く身につけることができるよう、科学的な現象の理解にとつて必要な知識を授けることである。これらの科目は、学生に彼らの目差す職業あるいは専門職業に関する科学的な基礎を把握させることになるであろう。

(b) 技術科目　　専門技術を身につけることや職業あるいは専門職業の訓練に直接有益となることを主として目差した科目。

(c) 一般科目　　学生の全般的、人間的成長を主として目差した科目。ある種の技術的性格を有する科目は、学生の将来就く重要な職業の訓練に直接有益でないとしても、一般科目として重要視される。

※ 生産部門の職業は、農業、水産業、工業、商業、建設業等と関連した職業である。用役部門の職業は、行政、教育、保健衛生、運輸、小売業等と関連している。

職 業 教 育

熟練工レベルの職業に就く者を訓練することを特に目的とした技術教育の分野。職業教育は、研修を特殊な職業の目的と関連づけることにより、教育に明確な目的と意義を与えるのに役立つ。

専門技師 (Professional Engineer)

専門技師は、工学関係の諸問題の分析と解決に、科学的な方法と見方を基礎教育と研修とによつて応用する能力を身につけた者である。また、工学科学や知識の開発及び応用に関して個人的に責任を持つことのできる者であり、特に、研究、設計、建設、製造、監督、管理及び技師の教育に関してはそうである。

専門技師の仕事は、主として知的なものであり、多種多様なものであつて、単純な精神的または肉体的な性格のものではない。この仕事は、創造的思考や判断の訓練と他人の行なう技術的、管理的業務を監督する能力を必要とする。

専門技師の教育は、工学科学の分野で世界的規模で新しく公表された成果を参考にし、かような情報を吸収し、それを独自に応用することにより徹底的に且つ継続的に進歩を追つて行くことを可能にするものである。

専門技師は、かくて、工学科学の開発、あるいは、その応用に貢献できる地位に位置しているのである。

専門技師の教育と研修は、彼が工学科学に関し巾広い且つ全般的な正しい認識を修得すると同時に、完全な洞察力を彼の専門のうち、特別な分野に導入することができるようになるものである。やがて、然るべき時に、彼は、権威のある技術的な助言を与え、彼の専門分野に於ける重要な仕事を指導する責任を負うことができるようになるであろう。専門技師は(Engineering Institution)の一員である。

技 師 (Technologist)

技師は、一般的に、専門の職業機関の一員として必要な資格や経験を有する。大概の工学や他の応用科学の大学卒業者及び一部分の技術に関する修了証書の所持者が技師となる。

技師は、自分の選択した技術の基本的な原理を勉強し、実地開発を指導することのできる知識と経験を活用することができる。

技師には、高度な責任を負うことと、多くの場合、自分の専門分野の知識の限界を押し拡げて行くことが期待されている。

技術者（Engineering Technician）

技術者は、工学分野の専門家によつて一般的に理解されているまぎれのない技術、あるいは、特別に専門技師によつて指示される技術を責任を以つて適用することができる者である。

専門工学の全般的方向あるいは、次から次へと確立されて行く工学技術の下で、技術者は、下に例示されるリストに見出される仕事を遂行する能力のあるものである。

これらの仕事の多くを遂行する時は、熟練工の仕事を相当の能力のある者が監督することが必要とされる。技術者の用いる技術は、工学の特別の分野に関して修得された経験と知識を必要とするのであり、この経験と知識は、十分に固められた実習により仕事の細部まで見透すことのできる能力と結合したものである。

技術者は、自分が責任を負つているその理由と作業の目的を理解することのできる十分な教育と研修を要する。

技能者（Technician）

技能者は、技術教育や実地研修の専門家により、技師の全般的命令の下に働く権限を付与される。従つて、自分の専門に関係する数学や科学の知識を十分持つことを要する。工場の技能者のうち模範者は、設計助手であつたり、職場の管理部門の下位に位置づけられる。

技能者は、工学や工業関係職業の中堅クラスを構成し、巾の広い活動に従事している。例えば、試験所助手、製図工、設計所助手、職長等である。また、監督者や検査官等の管理部門の下位のポストを占める。

職　工（Craftsman）

職工は、製造業の熟練労働を代表し、製造業労働人口の３分の１以上を数える。機械の複雑さが増すにつれ、新しい機械の導入に伴い、職工は自分の従事している労働を如何に行なうかという「方法」のみならず、それを何故行なうかという「理由」をも理解することが一層必要になつてきている。

熟練工員（Skilled Operatiue）

熟練工員は、多かれ少なからず熟練労働者であり（しばしば、技術見習制度の全然ない産業や製造工程に於いてそうである）、機械あるいはプラントを含めた特別な操作を行なう。ある場合には、職工の熟練と同等な程度の熟練を要する。他の場合は、その熟練は、数週間で修得できる。

見 習 制

これは、雇用者がある職業や事業のために若者を訓練したり、あるいは、組織的に若者を訓練させたりするために行なう契約関係である。見習期間中、見習者は、契約期間雇用者にその仕事のために熟練労働者に支払われる基準額以下の賃金で奉仕しなければならない。このような契約は、必ずしも文書による契約の形式を取る必要はない。双方が慣習上の条件を認める口頭上の約束が契約の普通の形式である。

慣例では、見習制という言葉は、工業あるいは、工学部門に於いて長期の研修制度を意味する。

サンドウイッチコース

専門機関での勉強期間と産業界での見習研修期間とが交互に行なわれる技術教育と研修のコース。

Day release（1日免除）

産業界の若い労働者が、少なくとも週に丸1日、有給で専門機関に於いて、1日研修コースを受ける機会を与えられる制度。

研 修 条 件

これらの定義が南及び東南アジアに於いて使用されるとするならば、異なつている研修状況や実施体系に合致させるために修正され、使用される必要がある。しかし、一方一般的に使用されている技師又は工師、技能者及び職工という用語をより明確にするために各レベルの産業研修の主な目的を簡単に引用※することが有益なことであると思われる。

※P. F. R. Venables サンドウイッチコース, Max Parrish

技 師（Techvologist）

自分の産業分野に於いて手の熟練及び機械操作の熟練のための基礎研修、即ち使用される機材の特性に関する知識；生産過程と技術及び関連コストに関する知識；検査、取付け、試験及び保守に関する方法の理解；研究、設計及び開発方法とその手順の理解

技 能 者

自分の産業分野に於いて手の熟練及び機械操作の熟達のための基礎研修、即ち使用される機材

の特性の理解；生産過程とコストを含んだ生産技術の理解；精密度及び仕上げに関する検査方法と検査基準に熟知すること；取付け検査と保守方法の理解；報告と指示の伝達能力；技師が行なう業務へ理解。

職　工

自分の産業分野に於いて手の熟練及び機械操作の熟達のための基礎研修、即ち自分が取扱う道具や機材の物理的性質の理解；精密度と仕上げに鋭敏であること；製図や書かれた指示を理解する能力；手の熟練か機械操作に熟達することとか、どちらか一方に関し高い能力を身につけるための継続した大規模研修。

人格研修

技能者や技師として成功するのに必要な人物資質は、研修の技術的な面と同一の方法では打ち立てられるものではなく、その開発は、様々な方法で鼓舞され、刺激されることができる。かような開発は産業界と研修機関双方の関心事であり、かつ、何故産業界が関心を示し、会社あるいは研修機関に於いて普通の研修時間外に援助活動を行なわなくてはならないのかの正当な理由であるのである。技師は、自己修養や自己統御、才気や物事を推進する能力、健全な判断力、応用性、創意性、責任、部下を理解すること及び監督する能力を持たなくてはならない。これは驚くほど多くの能力であるが、しかしながら、産業界は益々複雑化しており、決定は監督下にある技師によつて賢明かつ速やかに下されねばならない。技師の命令の下に働いている技能者もまた責任の一翼を担つており、特に職工を監督している場合はそうである。技能者は自己修養、才気、応用力、部下を監督する能力を陶冶しなくてはならなく、物事を完成する能力を有しなくてはならない。

技能者は、しばしば、仕事を直接監督しているので、その典型的な行動、態度及び実行性が非常に重要となる。

替為レート

付表Ⅳ

コロンボ計画諸国の通貨等価※

単位 ↓ / 等価 →	英貨ポンド イギリス	ドル オーストラリア ニユージランド	ドル カナダ	ドル (旧英領) マレーシア シンガポール ブルネイ	ドル 米合衆国	ルピー ブータン モルデイブ群島 パキスタン キーアト ビルマ	ルピー セイロン	ルピー インド	ルピー ネパール	円 日本	新ルピーア インドネシア	リーエル カンボデイア	キップ ラオス	ピアストル ヴイエトナム	ペソ フイリピン	バーツ タイ	ウオン 韓国	アフガニ アフガニスタン ライアル イラン
英貨ポンド イギリス	1·0	2·143	2·592	7·271	2·4	11·428	14·28	18·0	24·23	863·93	647·9	84·0	575·95	283·18	9·263	49·56	659·95	180·0
ドル オーストラリア ニユージランド	·4668	1·0	1·21	3·393	1·12	5·334	6·664	8·40	11·34	403·2	302·4	39·2	268·8	132·17	4·323	23·13	309·14	84·01
ドル カナダ	·3868	·8266	1·0	2·806	·926	4·409	5·509	6·945	9·370	333·3	250·0	32·4	222·2	109·26	3·574	19·12	254·63	69·44
ドル (旧英領) マレーシア シンガポール ブルネイ	·1375	·2946	·3563	1·0	·33	1·572	1·964	2·475	3·34	118·81	89·10	11·551	79·21	31·02	1·274	6·815	90·76	24·75
ドル 米合衆国	·4167	·8928	1·08	3·03	1·0	4·762	5·95	7·50	10·12	360·0	270·0	35·0	240·0	118·0	3·86	20·65	275·0	75·0
ルピー ブータン モルデイブ群島 パキスタン キーアト ビルマ	·0875	·1874	·2276	·636	·21	1·0	1·249	1·575	2·13	75·6	56·70	7·35	50·40	24·48	·8106	4·335	60·69	15·75
ルピー セイロン	·070	·1500	·1815	·5092	·168	·8003	1·0	1·260	1·70	60·50	45·37	5·88	40·34	19·83	·6487	3·470	4·621	12·60
ルピー インド	·0556	·119	·144	·404	·1333	·6349	·793	1·0	1·349	48·0	36·0	4·667	32·0	15·73	·5147	2·753	36·67	10·0
ルピー ネパール	·0412	·0884	·1067	·30	·0988	·4706	·588	·741	1·0	35·57	26·68	3·458	23·72	11·66	·381	2·040	27·24	7·410
円 日本	·0012	·0024	·003	·0084	·0028	·0132	·0165	·021	·0281	1·0	0·750	·097	·667	·328	·0107	·057	·764	0·208
新ルピーア インドネシア	·0015	·0033	·004	·0112	·0037	·0176	·0220	·0278	·0375	1·333	1·0	·1296	·889	·437	·0143	·076	1·019	·278
リーエル カンボデイア	·0119	·0254	·0309	·0866	·0286	·136	·170	·2145	·2891	10·29	7·71	1·0	6·857	3·371	·1103	·590	7·857	2·143
キップ ラオス	·0017	·0038	·0045	·0126	·0042	·0198	·0248	·0315	·0422	1·50	1·125	·146	1·0	·492	·0161	·086	1·146	0·313
ピアストル ヴイエトナム	·0036	·0076	·0092	·0257	·0085	·0404	·0504	·0636	·0858	3·051	2·204	·297	2·034	1·0	·0327	·175	2·330	·636
ペソ フイリピン	·1008	·2312	·2798	·7850	·2591	1·234	1·541	1·943	2·622	93·26	69·948	9·067	62·18	30·519	1·0	5·349	71·244	19·43
バーツ タイ	·0201	·0432	·0523	·1467	·0484	·2306	·288	·3631	·4901	17·43	13·075	1·695	11·62	5·763	·1869	1·0	13·317	3·632
ウオン 韓国	·0015	·0032	·0039	·0110	·0036	·0173	·0216	·0273	·0368	1·308	0·982	·1272	·873	·429	·0140	·075	1·0	·273
アフガニ アフガニスタン ライアル イラン	·0055	·0119	·014	·0404	·0133	·0635	·0795	·10	·1349	4·8	3·60	·4667	3·2	1·573	·0515	·275	3·67	1·0

※ 1968年1月1日現在の国連技術援助委員会替為レートによる。